

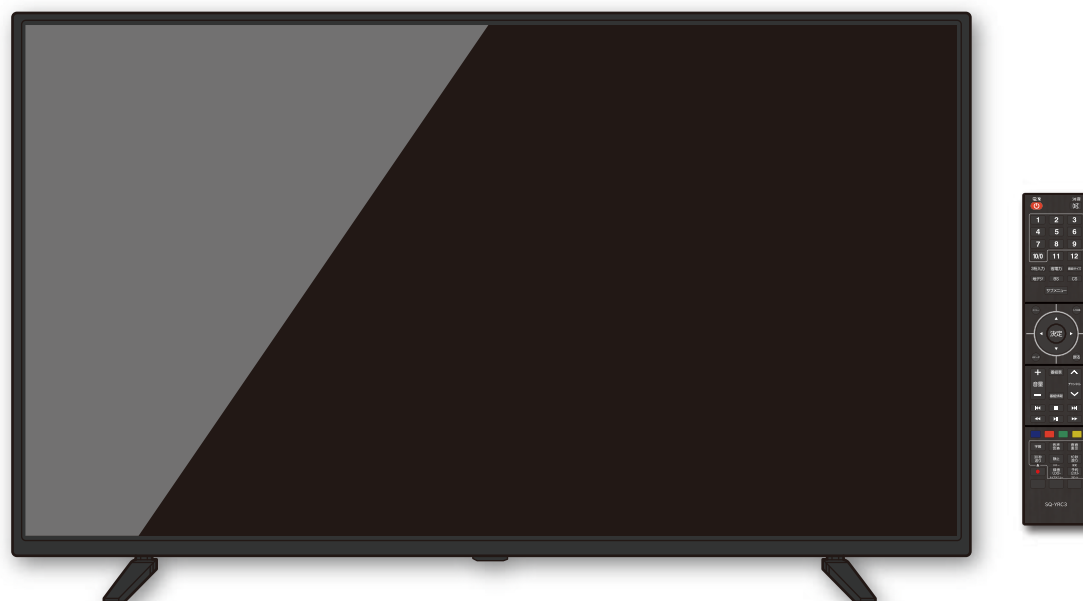


SOLARIA

取扱説明書

地上・BS/110°CSデジタル対応ハイビジョン液晶テレビ

品番：SQ-Y32M
SQ-Y42M



HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この度は液晶テレビをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の64ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。国外での使用はできません。
また、日本国外でのアフターサービスも出来ません。

This product is designed for use in Japan and cannot be used outside of Japan. No service is available outside of Japan.

はじめに

使う前の準備

テレビを見る

録画

外部機器との接続

調整と設定

その他

もくじ

ご使用の前に

もくじ	2
安全上の注意	3
使用上の注意	5
付属品	6
各部のなまえ	7

使う前の準備

スタンドの取り付け	11
リモコンに電池を入れる	12
リモコンにの操作のしかた	12
アンテナを接続する	13
miniB-CASカードを入れる	14
電源を入れる	15
かんたん設定	16
アンテナの方向調整	17

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ	18
音量を調節する	18
消音する	18
番組表を見る	19
視聴予約を設定する	20
検索条件を指定して番組を探す	20
データ放送を見る	21
接続した機器の映像を見る（入力切替）	22
テレビの映像を静止させる	22
便利な機能を使う	
画面サイズを変える	23
画面の位置や幅を調整する	23
音声を切り換える	24
省電力機能を設定する	24
チャンネル情報を見る	24
字幕を表示する	25
放送メール	25
CSボード	25
オンタイマーを使う	25
自動で電源が切れるようにする	26
文字を入力する	27

録画

USBハードディスクを接続する	28
録画機能について	29
新しいUSBハードディスクを登録する	29
USBハードディスクの設定をする	30
見ている番組を録画する	31
番組表から録画予約する	31
録画する日時を指定して録画予約する	32
録画設定の変更	32
録画を中止する	33
予約の確認・取り消しをする	33
録画予約に関するお知らせ	33
録画番組を再生する	34
録画した番組を保護する	35
録画した場組を削除する	35

外部機器との接続

ヘッドホンで聞く	36
外部機器の映像と音声を本機で再生する	36
オーディオ機器にデジタル音声を出力する	38
パソコンを接続する	39
HDMI設定	40
入力表示設定	41
HDMIスピーカー選択設定	41
インターネット接続	42
ネットワーク状態を確認する	43

調整と設定

サブメニュー画面	44
設定メニュー画面	45
映像設定メニュー	
画質動作選択	46
画質の調整	46
高度な映像調整	47
シネマ設定	47
画面の設定	47
調整の初期化	47
音声設定メニュー	
音声調整	48
音質の調整	48
音量調整	49
デジタル音声出力	49
音声同時出力	49
調整の初期化	49
機器設定	
USB機器管理	50
録画設定	50
視聴制限設定	50
表示の設定	51
HDMI設定	51
かんたん設定	52
設置設定	52
システム設定	53
その他の設定	53

その他

壁にかけてつかうとき	54
地域別チャンネル表	55
故障かな？と思ったら	
こんな場合は故障ではありません	57
全般	57
映像	58
音声	59
デジタル放送	59
録画	60
製品仕様	61
お手入れのしかた	62
破棄の際のご注意	62
点検について	62
アフターサービス	63
保証書	64

安全上の注意

表示について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告



禁止

絶対に分解したり、修理・改造をしないでください。
発火したり、異常動作して、火災や感電・けがの原因になります。



強制

異常・故障時は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
発火したり、異常動作して、火災や感電の原因になります。お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターへ連絡してください。



強制

壁掛け工事は専門業者に依頼してください。
壁掛け工事が不完全ですと、落下しけがの原因になります。



禁止

電源コードに重いものを乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグ・ACアダプターは、傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近づけるなど)しないでください。
火災・感電の原因になります。



禁止

雷が鳴り出したら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触らないでください。
感電の原因になります。



禁止

通風孔や穴などにピンや針金など金属製のものを入れないでください。
発火したり、異常動作して、火災や感電・けがの原因になります。



禁止

浴室や水のかかりやすい場所、湿気が多い場所に設置しないでください。
漏電による火災・感電の原因になります。



禁止

水をかけないでください。
テレビの中に水などが入ると、火災・感電の原因になります。



禁止

テレビを落としたり、キャビネットを破損した時は使用しないでください。
火災・感電の原因になります。



強制

電源プラグの刃と刃の間に付いたホコリは、定期的に乾いた布で拭き取ってください。
火災・感電の原因になります。



強制

電源は、交流100Vを使ってください。
交流100V電源以外で使用すると、火災・感電の原因になります。



強制

包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意してください。
かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。

安全上の注意 (つづき)

⚠ 警告



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



強制

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



禁止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置かないでください。
火災の原因となることがあります。また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。



禁止

湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かないでください。
加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがないでください。壁に押しつけないでください。風通しの悪い所に押し込まないでください。(10cm以上の間隔を空けてください)
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

電源プラグまた、ACアダプターを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かず、プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



禁止

不安定なテレビ台やキャスター付きの台など不安定な場所に据え付けしないでください。
倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかた、タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



強制

ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量は徐々に上げてください。
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。



強制

旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグまた、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



禁止

液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしないでください。
ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。もしも、ガラスが割れて液晶(液体)がもれたときは、液晶に直接触れないで、拭き取ってください。
もれた液が目にはいたり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。



強制

1年に一度は通風孔がホコリなどで詰まっていないか確認してください。
本機の内部にホコリがたまったら使用すると、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

⚠ リモコンに使用する乾電池に関する注意



禁止

- 指定以外の乾電池は使用しないでください。
- ⊕ ⊖ 極性表示を間違えて挿入しないでください。
- 充電・加熱・火への投入・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかないでください。液漏れにより、リモコンの故障の原因になります。
- 液漏れがあった場合は、液に触れないでください。
もしも液が目や口に入ったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- 電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従ってください。

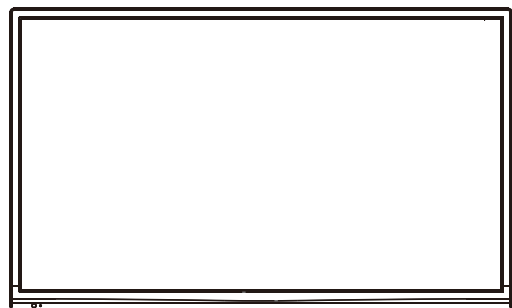
使用上の注意

- 本製品を横倒しにして輸送した場合、液晶パネルの破損や画面欠点の増加の恐れがあります。横倒しでの輸送をしないでください。運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんで衝撃・振動を与えないでください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所(棚や押入れの中など)や、じゅうたんや布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。
- 液晶パネルには、画面の一部に暗点(光らない点)や輝点(余計に光る点)がある場合があります。これは故障ではありません。
- 本機を長時間使用したときに、液晶パネル表面や本機上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合でも、故障ではありません。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- テレビ放送、外部入力ソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケによっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。
- miniB-CASカードは必要なときだけに抜き差ししてください。必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、強い衝撃を加えたり、金属の端子部分に触れたりしないでください。本機に差し込むときは逆に差し込まないように注意してください。
- 電源プラグまた、ACアダプターは長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。(番組情報を取得するためです)
 - 電源プラグまた、ACアダプターをコンセントから抜く場合、電源プラグを抜いている間に録画予約がないか確認してください。電源プラグまた、ACアダプターが抜かれていると、予約した番組は録画されません。
- リモコンを落としたり、踏んだり、リモコンに液体をかけたりしないように、ていねいに扱ってください。直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。
- ケーブルテレビ、・共聴・集合住宅設備で放送を受信する場合は、事業者または管理者にアンテナの接続方法についてお問い合わせください。
- 本機を廃棄処分する場合や他人に譲渡したりする場合、「すべての初期化」を実行していただき、設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報の消去を行ってください。 **P.53**
- あなたが録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為も、著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
 - 録画した番組をメールやメッセージサービスなどで他人に送る。
 - 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任の基でご利用ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

付属品

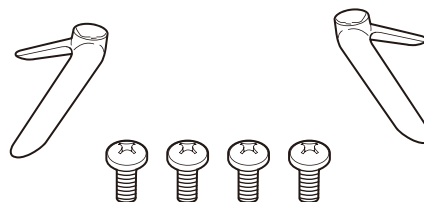
●付属品が揃っていることをお確かめください。

はじめに



本体

スタンド部品一式



スタンド固定ネジ × 4個



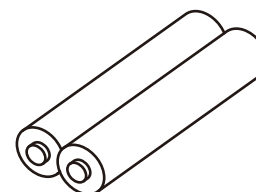
miniB-CASカード x 1



赤外線リモコン x1台



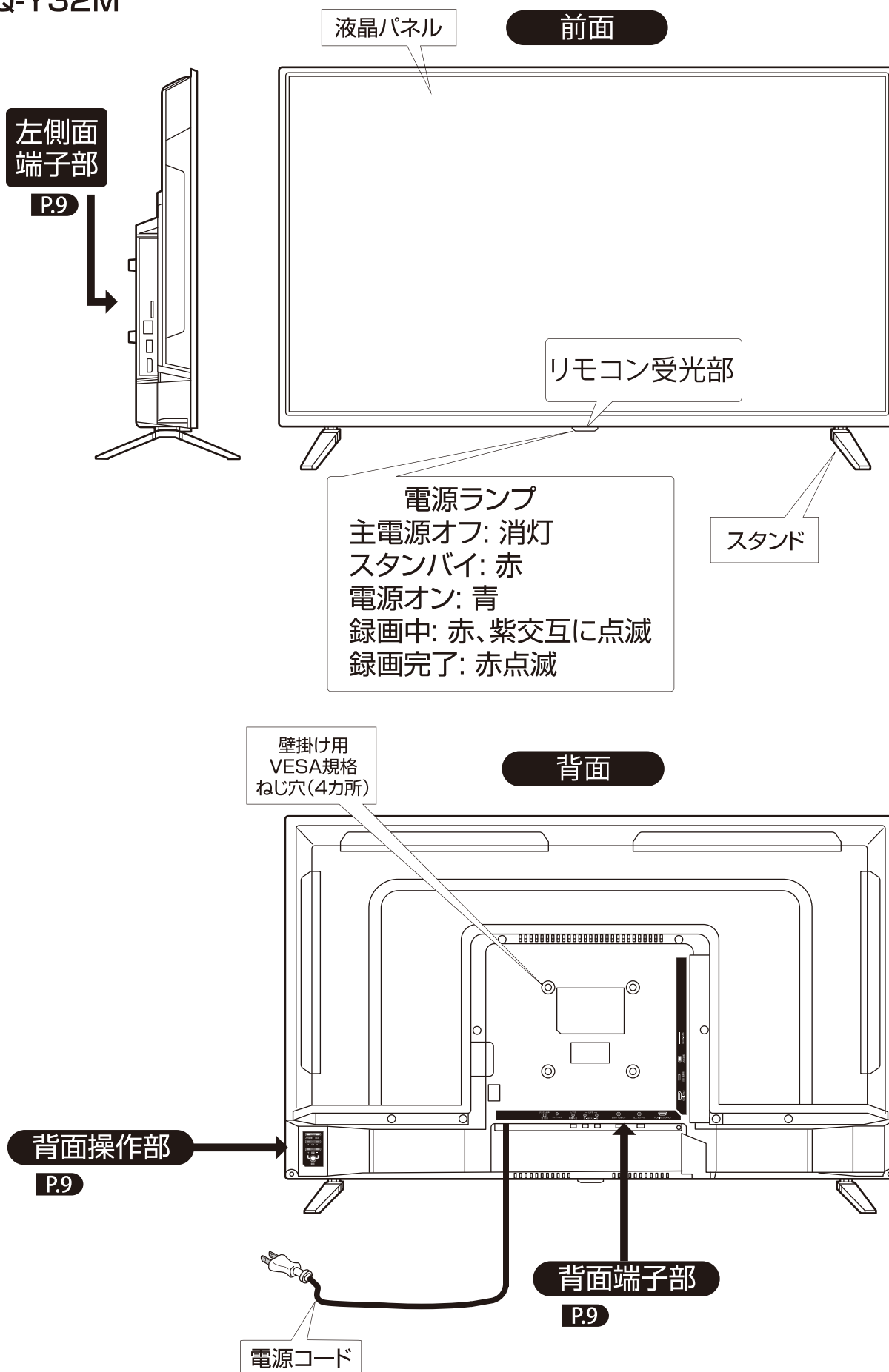
取扱説明書 x1部



リモコン用単四電池 x 2本
(動作確認用)

各部のなまえ

SQ-Y32M



はじめに

各部のなまえ

SQ-Y42M

左側面
端子部

P.9

液晶パネル

前面

リモコン受光部

スタンド

電源ランプ
主電源オフ: 消灯
スタンバイ: 赤
電源オン: 青
録画中: 赤、紫交互に点滅
録画完了: 赤点滅

壁掛け用
VESA規格
ねじ穴(4カ所)

背面

背面操作部

P.9

背面端子部

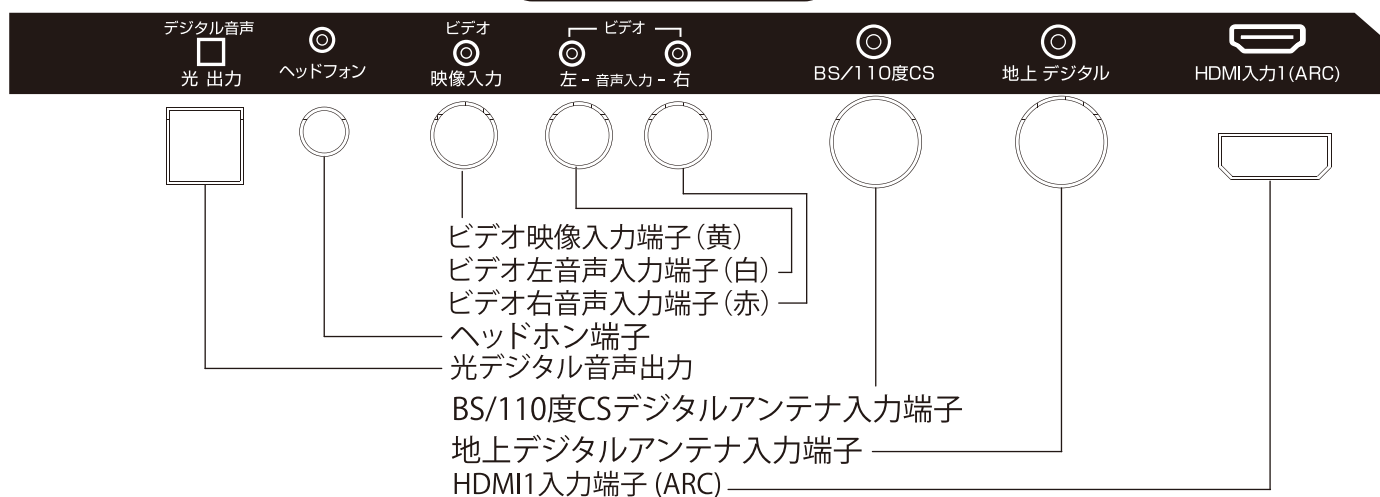
P.9

電源コード

はじめに

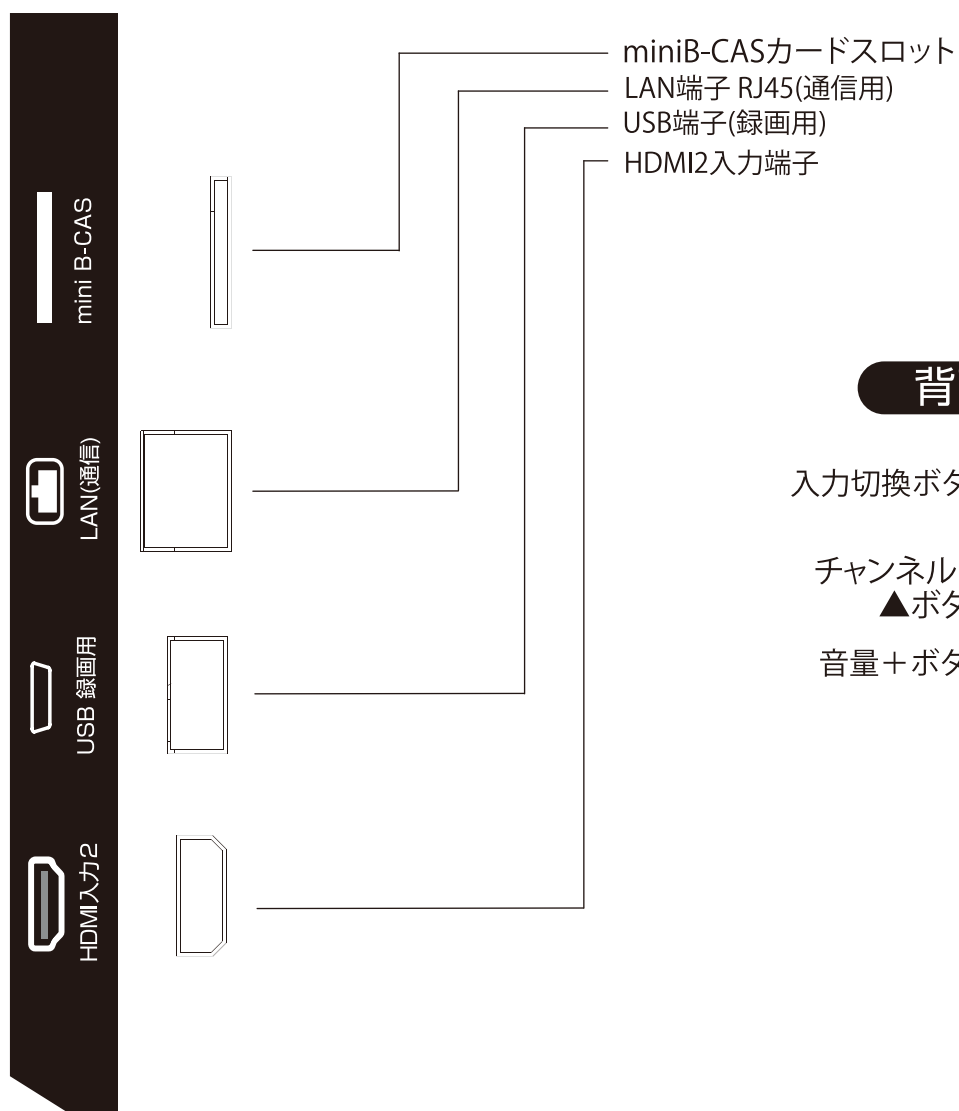
各部のなまえ (つづき)

背面端子部

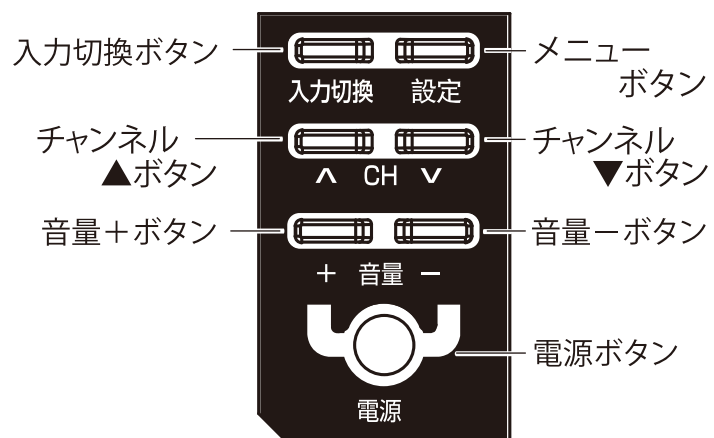


はじめに

左面端子部



背面操作部

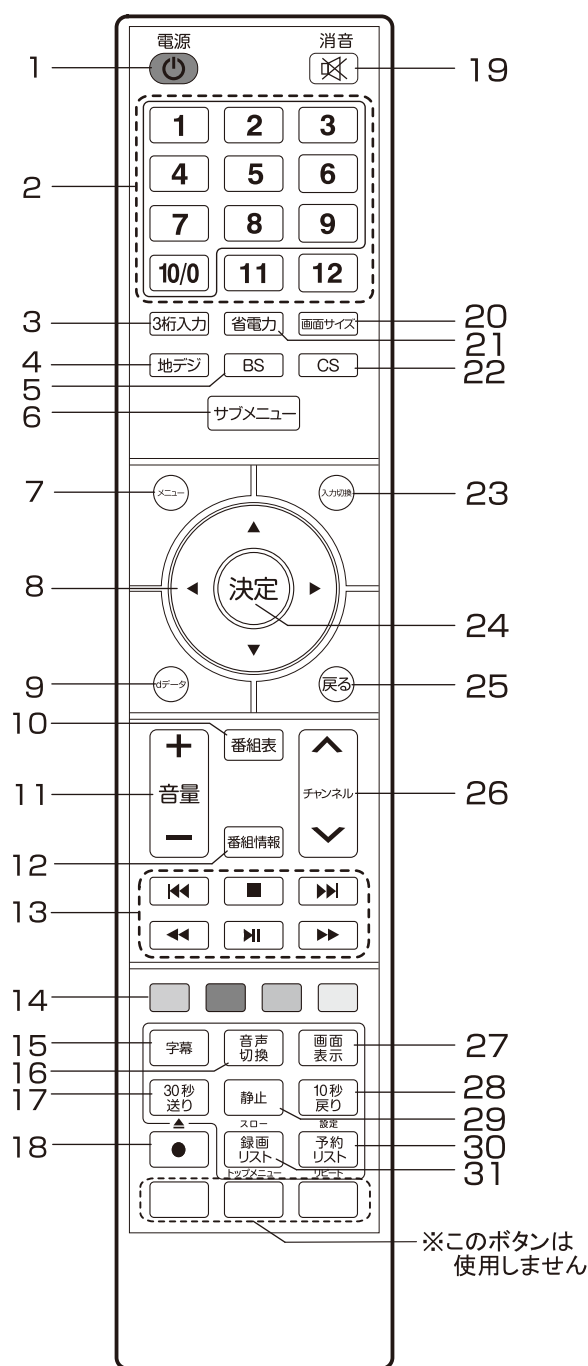


各部のなまえ (つづき)

はじめに

1. **電源ボタン**
テレビの電源を「オン」「オフ」します。
2. **1～12の数字ボタン**
チャンネルの選局などに使います。
3. **3桁入力**
3桁のチャンネル番号を直接入力する時に押します。
4. **地デジ**
地上デジタル放送に切り換えます。
5. **BS**
BSデジタル放送に切り換えます。
6. **サブメニュー**
サブメニューを表示します。
7. **メニュー**
設定メニューを表示します。
8. **▲▼◀▶**
項目などを選択します。
9. **dデータ**
データ放送画面を表示します。
10. **番組表**
番組表を表示します。
11. **音量+/-**
音量を調節します。
12. **番組情報**
番組情報を表示します。
13. **録画番組のボタン**
録画番組の再生操作をするときに使います。
14. **青赤緑黄**
データ放送画面や設定メニューなどの操作に使います。
15. **字幕**
字幕の表示・非表示を切り換えます。
16. **音声切換**
二ヶ国語などの音声を切り換えます。
17. **30秒送り**
再生中の録画番組を30秒送りします。
18. **● 録画ボタン**
見ている番組を録画します。
19. **消音ボタン**
一時的に音を消します。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
20. **画面サイズ**
表示画面のサイズを切り換えます。
21. **省電力**
画面の明るさを抑えて消費電力を低減します。
22. **CS**
110度CSデジタル放送に切り換えます。
23. **入力切換**
外部入力画面に切り換えます。
24. **決定**
選択している項目を確定します。
25. **戻る**
ひとつ前の画面に戻ります。

26. **チャンネル▲▼**
チャンネルを順送りで選局します。
27. **画面表示**
画面にチャンネル番号などを表示します。
28. **10秒戻り**
再生中の録画番組を10秒戻しします。
29. **静止**
録画番組再生中:再生中の映像を一時停止します。
テレビ視聴中:画面を静止させます。
30. **予約リスト**
予約リストを表示します。
31. **録画リスト**
録画リストを表示します。



使う前の準備

スタンドの取り付け

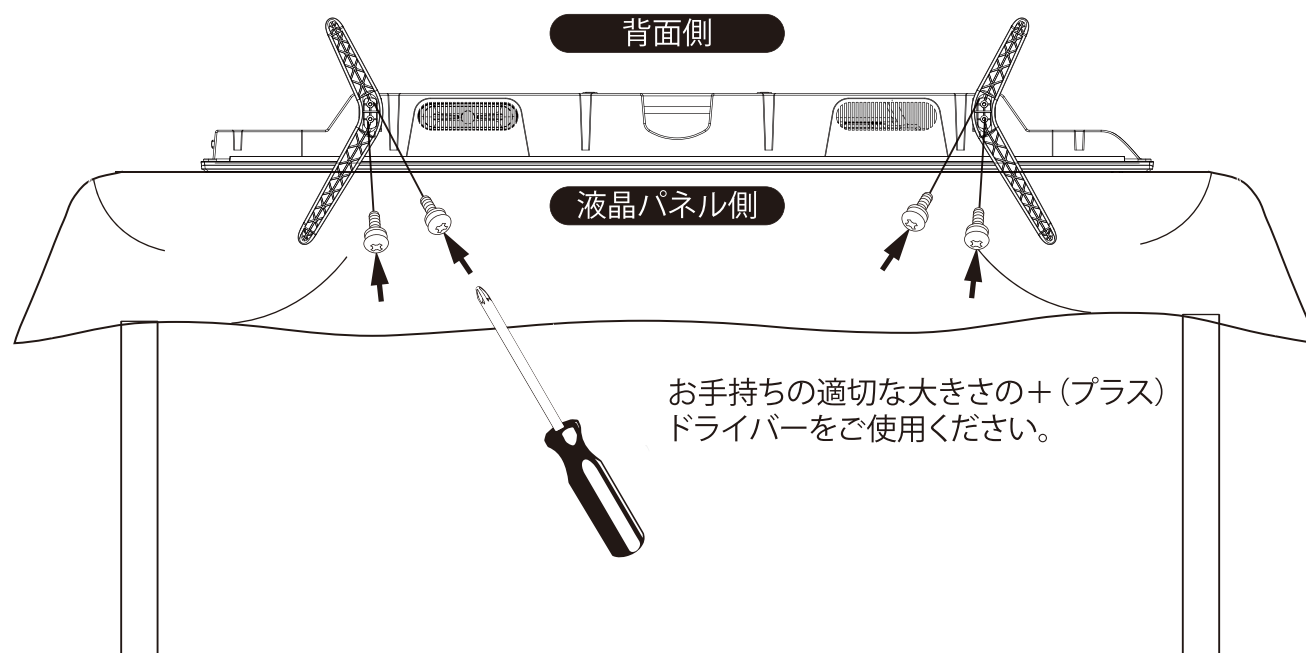
- 本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付けの際は、スタンドの取り付け向に注意してください。
- 本製品にスタンドを付けずに、壁掛け用金具を使用して本機背面のVESA規格のねじ穴を使い壁に掛けることができます。P.54

⚠️ ご注意

- 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。衝撃や圧力で液晶パネルが破損する可能性があります。

1 台などの上に柔らかい布(毛布など)を敷き、液晶パネルが下向きになるようにして、本機を台の上に置きます。

2 下図のように、本機にスタンドを差し込み、付属のネジ(4本)で固定します。



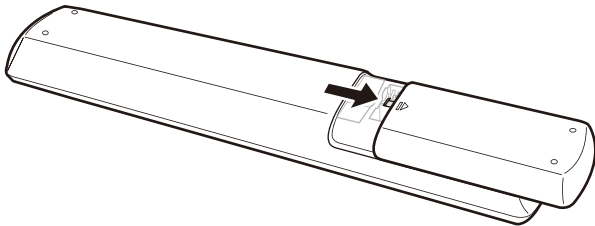
使う前の準備

使う前の準備 (つづき)

リモコンに電池を入れる

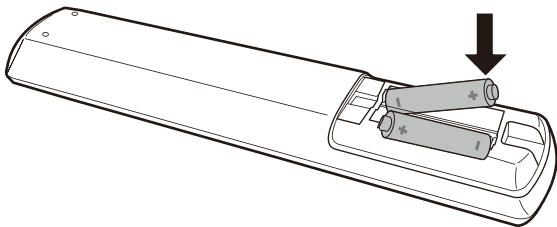
1 電池カバーを開けます。

軽く押し下げながら、指定の方向にスライドさせてください。



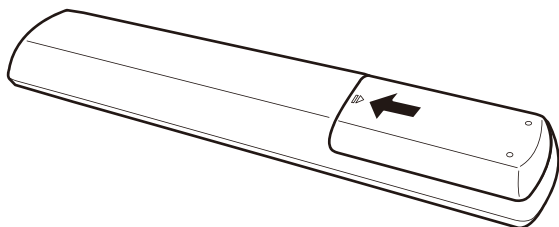
2 電池を正しい向きに挿入します。

バッテリーの⊖極をバネ部分に取り付けてから下向きにしっかりと押し込みます。



3 電池カバーを閉めます。

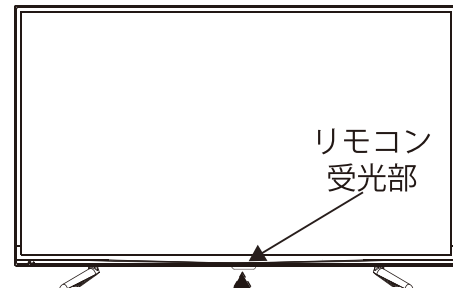
指定の方向に向かって、パチンと音がするまでカバーをスライドさせます。



ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しに電池に交換してください。
- 銘柄や容量の違う乾電池や新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

リモコンの操作のしかた



30° 30°

7m

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコン送信部



約 ± 30 度の範囲、距離は直進で約7mまで操作可能です。

お知らせ

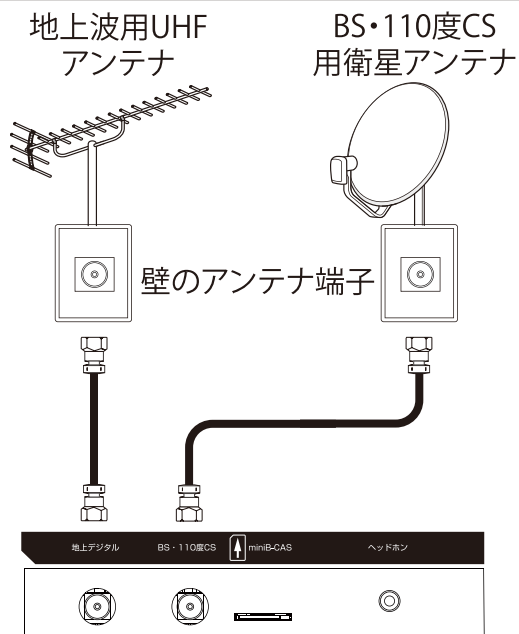
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい乾電池に交換してください。

アンテナを接続する

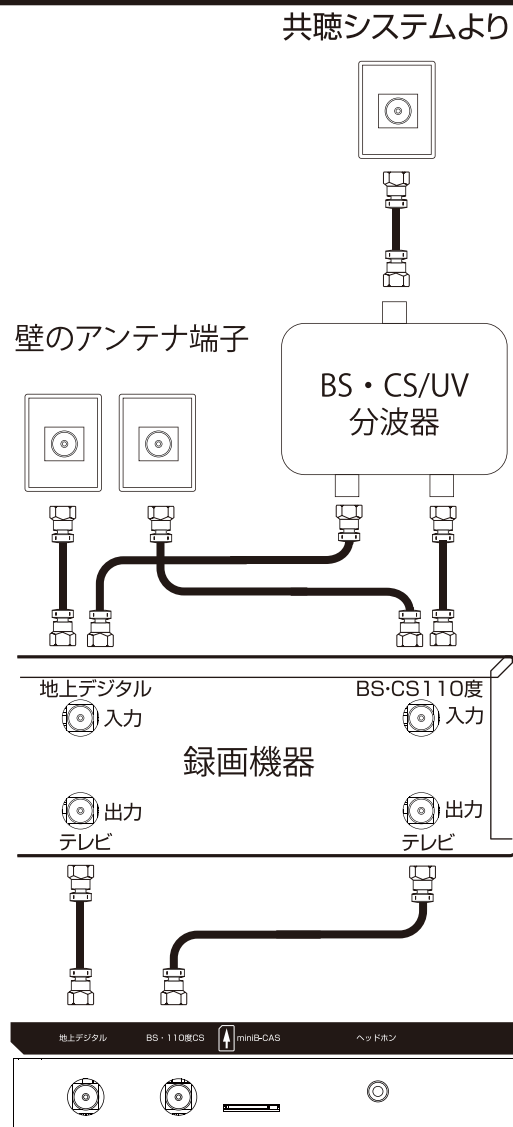
ご注意

- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブルテレビ会社の送信方式により接続のしかたが異なります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)などは本製品に付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切な市販品を別途お買い求めください。
- BS・110度CS共用アンテナは電源が必要です。BS・CS/U・V混合器や分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。

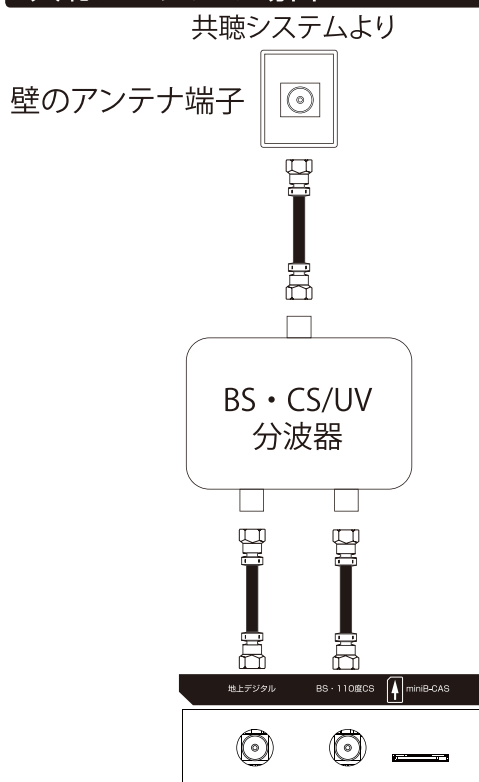
個別のアンテナの場合



録画機器を経由する場合



共聴アンテナの場合



お知らせ

- 天候などの影響により受信信号レベルが変動します。アンテナレベルが50以上になるように調整してください。
- アンテナレベルが不足なときはブースターなどで増幅してください。
- ケーブルテレビで受信しているときは、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 特定のチャンネルが受信できなかったり受信状態が悪いときには、お買い求めいただいたアンテナの製造元や販売店にご相談ください。

使う前の準備 (つづき)

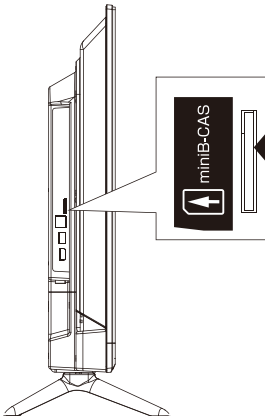
miniB-CAS カードを入れる

- miniB-CAS** ★
BS・CS・地上 共用
(株) B-CAS
TEL 0570-000-250
所有権は当社に属します

ご注意

- 1 本機の電源を切ります。

- 3 右図のように、B-CAS カードをカチッと音がするまで挿入します。(B-CAS カードを押すことにより、外すことができます)



お知らせ

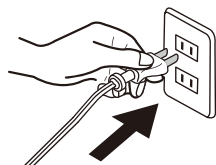
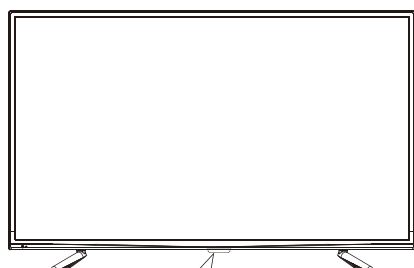
- [illegible]

使う前の準備 (つづき)

電源を入れる

- アンテナの接続が終わったら、本機の電源を入れます。

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む
本体が待機状態になり、前面の電源ランプが赤く点灯します。



電源ランプ
主電源オフ: 消灯
スタンバイ: 赤
電源オン: 青
録画中: 赤、紫交互に点滅
録画完了: 赤点滅

- 2 リモコンの^{電源}  または本体側面の電源ボタンを押す
電源が入り、本体前面の電源ランプが青色に点灯します。
画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。

はじめて電源を入れたときはチャンネル設定が必要です。次 ページの「かんたん設定」を参照し、設定してください。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- コンセントからプラグを抜く際は：
 - ① 録画が行われていないか確認してください。
 - ◆ USB ハードディスクに録画を行っている際に電源をプラグを抜いてしまうと、録画した番組が消えてしまうことがあります。
 - ② 録画予約が始まらないか確認してください。
 - ◆ 録画予約が始まった際に電源プラグを抜いてしまうと、予約した番組が録画されません。
 - ③ 本体の電源を消してください。
 - ◆ 「待機」の際も、本体はわずかですが電力を消費しています。
 - ④ コンセントからプラグを抜きます。
 - ◆ テレビの電気が完全に切れます。
- ぬれた手で抜き差ししないでください。
- プラグは根元まで確実に差し込んでください。

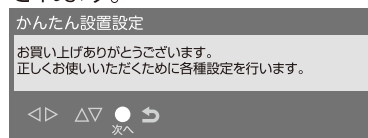
使う前の準備 (つづき)

「かんたん設定」について

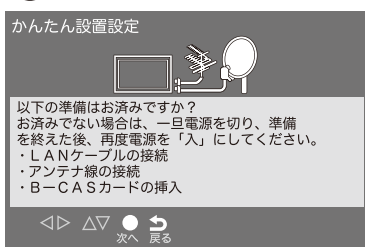
お買い上げ後、miniB-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「かんたん設置設定」で、お住まいの地域に適したチャンネルを設定します。画面に表示される指示に従い、設定をおこなってください。

「かんたん設置設定」の操作は、付属のリモコンを使用しておこないます。

- 初めてテレビの電源を入れたとき、下記画面が表示されます。

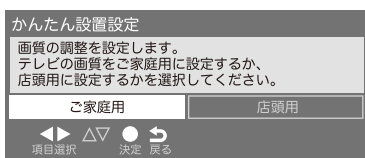


(決定) を押す

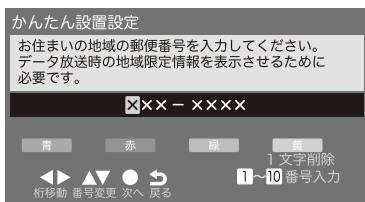


- アンテナ接続と miniB-CAS カードを確認し、(決定) を押す

「かんたん設置設定」が表示されます。



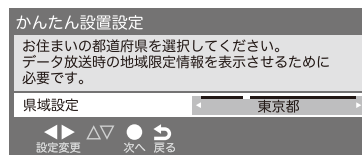
◀▶で「ご家庭用」を選び、(決定) を押す



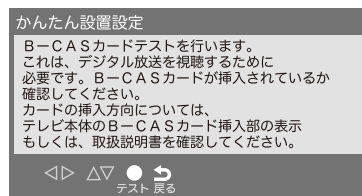
- ▲▼◀▶ または [1] ~ [10/0] でお住まいの地域の郵便番号を入力し、(決定) を押す

間違えたときは [黄] を押すたび、1文字ずつ消去できます。

- ◀▶でお住まいの都道府県や地域を選び、(決定) を押す



- (決定) を押して、B-CASカードテストを行う
B-CAS カードテスト画面が表示されます。

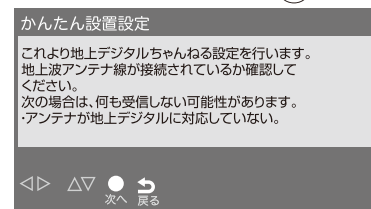


テストが正しく終了すると、画面左下に「B-CAS」カードテスト:OK」と表示されます。

「OK」が表示されたら (決定) を押す

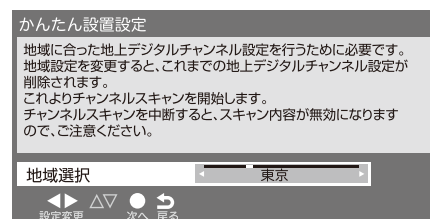
「NG」と表示されたときは、カードが正しい向きで、奥までしっかりと挿入されているかを確認し、再度テストを行ってください。

- 地上デジタルチャンネル設定画面の内容を確認し、(決定) を押す



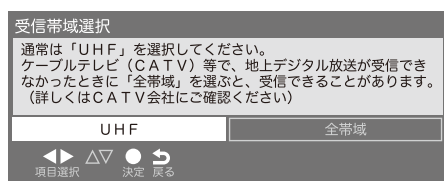
お住まいの都道府県を入力する

◀▶で選び、(決定) を押す



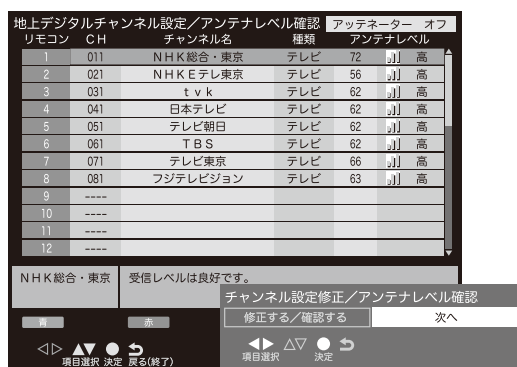
使う前の準備 (つづき)

- 7 ◀▶ で受信帯域を選び、(決定) を押す
通常は UHF を選びます。



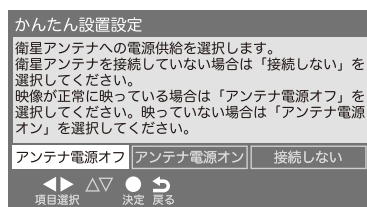
地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する画面が表示されます。



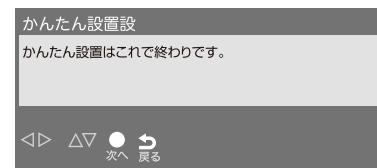
(決定) を押す

- 8 衛星アンテナへの電源供給方法を選び、(決定) を押す



番組データを受信します。

- 9 「かんたん設置設定はこれで終わりです。」と表示されたら (決定) を押します。



アンテナの方向調整

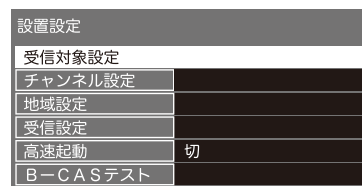
「かんたん設定」をしてもデジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

以下は地上デジタル放送のアンテナの調整例です。

- 1 (メニュー) を押し ▲▼ で「機器設定」を選び、(決定) を押す

- 2 ▲▼ で「設置設定」を選び、(決定) を押す

- 3 ▲▼ で「受信設定」を選び、(決定) を押す



「受信設定」画面が表示されます。

- 4 ▲▼ で「地上」を選び、(決定) を押す



受信レベルが表示されます。

- 5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する
アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。
※アンテナレベルが50以上になるように調整してください。



- 6 アンテナを固定します。
(メニュー) を2回押して設定画面を閉じます。

お知らせ

- 衛星放送の受信レベルは手順2で「衛星」を選び、同様に確認します。
- 視聴中に [FAC] から「アンテナレベル」を選んで受信レベルを確認することもできます。

テレビを見る

リモコンで番組を選ぶ

- 1 リモコンの  または本体の電源ボタンを押す
前面の電源ランプが青色に点灯します。
しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。
- 2 、、 で地上デジタル放送、BS 放送または CS 放送を選ぶ
- 3 数字ボタン  ~ 、チャンネル   ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ
 - チャンネル   ボタンを押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。
 - チャンネル番号を入力するときは、 を押し、3桁のチャンネル番号を入力します。

お知らせ

-  を押して「3桁入力選局」を選んでも3桁入力画面が表示されます。

音量を調節する



を押して音量を調節する

音量レベルは0から100です。

消音する

- 1  を押す
画面左下に  が表示されます。

- 2 元に戻すには、もう一度  を押す
音量+/- ボタンを押しても音が出ます。

テレビを見る(つづき)

番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

1 放送視聴中に **番組表** を押す

視聴中の放送の番組表が表示されます。

放送の種類を変更するには **地デジ**、**BS**、**CS** のいずれかを押します。

番組を選んで「決定」を押すと、番組の詳細情報を表示します。

地デジ / **BS** / **CS** ボタンで 表示している番組表 の日にち 現在日時

7 チャンネル分の番組表を 表示

6 時間分の番組表を表示

決定 で番組表サブメニュー を表示

選択中の番組情報

緑 / **黄** ボタンで前日 / 翌日に移動

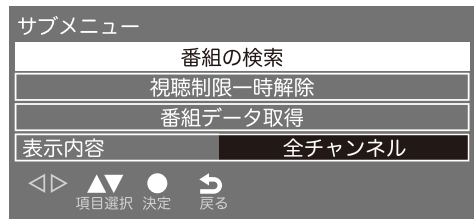
テレビを見る

2 番組表を消すには、**番組表** または **戻る** を押す

● 番組表サブメニュー

番組表表示中に **決定** を押すと、番組表サブメニューが表示され項目を選択できます。

- 番組の検索
- 視聴制限一時解除
- 番組データ取得
- 表示内容



お知らせ

- 「表示内容」で「設定チャンネル」を選ぶと、選局したチャンネルだけの番組表を表示します。あらかじめ「メニュー」⇒「機器設定」⇒「その他の設定」⇒「選局対象」で設定チャンネルを選択しておきます。

テレビを見る(つづき)

視聴予約を設定する

- 1 放送視聴中に **[番組表]** を押す
番組表が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ で予約したい番組を選び、**(決定)** を押す
- 3 番組説明を確認して、「視聴予約」を選び、**(決定)** を押す

録画予約

視聴予約

「予約が完了しました」のメッセージが表示され、番組表の予約した番組のボックスに青い **予** マークが付きます。

※USBハードディスクの接続が無い場合、「録画予約」は表示されません。

ご注意

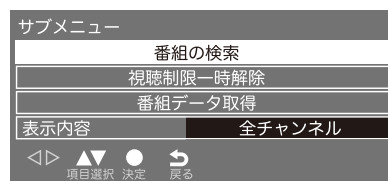
- 視聴予約を設定後、電源を切ると予約は取り消されます。予約された時刻になっても自動で電源は入りません。

● 視聴予約を取り消す

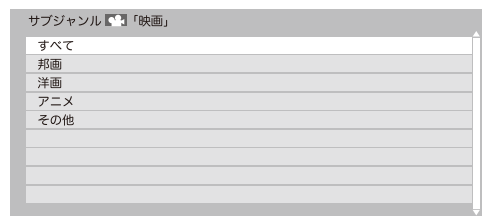
- 1 予約した番組を選び、**(決定)** を押す
- 2 番組説明を確認して、◀▶ で「予約削除」を選び、**(決定)** を押す
番組表の予約した番組のボックスの青い **予** マークが消えます。

検索条件を指定して番組を探す

- 1 放送視聴中に **[番組表]** を押す
- 2 **[ジャンル]** を押す
- 3 ▲▼ で「番組の検索」を選び、**(決定)** を押す



- 4 「ジャンル検索」を選び、**(決定)** を押す
- 5 検索条件を指定する
 - ① ▲▼ でメインジャンルを選び、**(決定)** を押す
 - ② ▲▼ でサブジャンルを選び、**(決定)** を押す



- 6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を ▲▼ で選び、**(決定)** を押す
- 7 ▲▼◀▶ で「録画予約／視聴予約」を選び、**(決定)** を押す

テレビを見る(つづき)

データ放送を見る

● データ放送とは

- BS デジタル放送や地上デジタル放送では、映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送は「ニュース」や「天気」のように最新情報をタイムリーに提供するサービスと、放送中の番組に関連した情報をその時間帯のみ提供する番組連動型サービスがあります。

● 連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

- 1  を押す
放送局により、表示される内容が異なります。
画面に表示される操作指示に従って操作してください。

- 2 ▲▼◀▶で移動し、 を押す
指定した情報が表示されます。

- 3  を押すと、通常の画面に戻ります

お知らせ

- 放送画面の操作説明などで、 ボタンは「dボタン」、「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。

● デジタル放送の双方向サービス

インターネット回線を利用し、視聴者側が番組にクイズの回答を送信したり、リクエストをしたりできます。

地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

お知らせ

- デジタル放送の双方向サービスを利用するには、本機裏面の LAN 端子にネットワークケーブルを接続して、「通信設定」でインターネットへの接続を設定する必要があります。**P.42**
- 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

テレビを見る(つづき)

接続した機器の映像を見る（入力切換）

本体背面の外部入力端子に接続した BD プレーヤー、DVD プレーヤーやビデオデッキなどの映像を見るときは、入力切換をします。

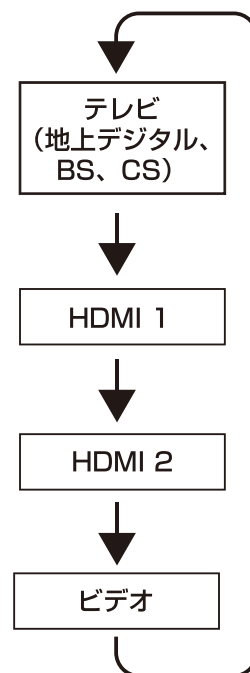
- 1  を押す
「入力切換」画面が表示されます。

- 2  を繰り返し押して、入力モードを選ぶ



お知らせ

- 音量は本機のリモコンで調節します。その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。
- 「入力切換」画面で使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたい場合は、**P.41** 「入力表示設定」をご覧ください。



テレビの映像を静止させる

- 1  または  を押す
解除するときはボタンをもう一度押します。
映像が静止中でも音声は流れ続けます。
静止中は画面右上に **静止** が表示されます。



便利な機能を使う

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1  を押し ▲▼ で「映像設定」を選び、 を押す

2 ▲▼ で「画面の設定」を選び、 を押す

映像設定	
MPEG ノイズ低減	強
高度な設定	切
詳細調整	
シネマ設定	
画面の設定	
調整の初期化	

3 ▲▼ で「画面サイズ切替」を選び、 を押す

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置／大きさ	
4：3映像設定	ジャスト

「画面サイズ切替」画面が表示されます。

4 「自動」「フル」「ジャスト」「ノーマル」「ズーム」を選び、 を押す

自動
フル
ジャスト
ノーマル
ズーム
サイドカットフル
サイドカットジャスト
サイドカットズーム

自動

自動的に画面サイズを検知して最適なサイズで表示します。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

フル

16：9の映像をそのままのアスペクト比で表示します。

ジャスト

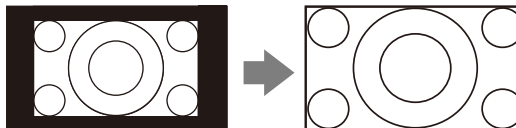
4:3映像を画面サイズに合わせて拡大します。

ノーマル

4:3映像をオリジナルのまま表示します。

ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



サイドカットフル

サイドカットした映像をフルで表示します。

サイドカットジャスト

サイドカットした映像の左右の拡大率を多くして、違和感のない映像に拡大します。

サイドカットズーム

サイドカットした映像を画面いっぱいに拡大します。

お知らせ

- リモコンの  ボタンでも設定できます。

画面の位置や幅を調整する

画面の表示位置や大きさを調整します。

ご注意

- 「4:3映像設定」が「ノーマル」の場合は調整できません。
- 映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

1  を押し ▲▼ で「映像設定」を選び、 を押す

2 ▲▼ で「画面の設定」を選び、 を押す

3 ▲▼ で「垂直位置／大きさ」を選び、 を押す

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置／大きさ	
4：3映像設定	ジャスト

便利な機能を使う(つづき)

- 4 ▲▼ で垂直位置を、◀▶ で画面サイズを調整し、**決定** を押す



音声を切り換える

- 1 **音声切換** を押す
押すたびに別の音声に切り換わります。



お知らせ

- 受信している放送によって音声切換表示は異なります。

● サブメニューで音声切換の設定をする

以下の手順で「信号切換」画面を表示し、設定します。

- 1 **信号切** を押す
- 2 ▲▼ で「信号切換」を選び **決定** を押す
「信号切換」画面が表示されます。

信号切換	
マルチビュー	主番組
映像	映像 1
音声	日本語
二重音声	主
データ	ニュース・天気・
字幕	オン
字幕言語	日本語

- 音声 日本語／英語を選ぶことができます。
- 二重音声 主／副などを選ぶことができます。

省電力機能を設定する

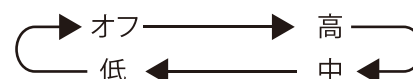
画面表示を暗くすることで、消費電力を低減します。

省電力 を押す

画面右下に現在の設定が表示されます。



押すたびに、設定が以下のように切り換わります。



チャンネル情報を見る

画面表示 を押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

- 1 **画面表示** を押す
チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。



録画しているチャンネルの画面で「録画中」と表示されます。

しばらくすると、画面上部の番組名は消えて、チャンネルの表示だけになります。

- 2 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

便利な機能を使う(つづき)

字幕を表示する

字幕放送番組で字幕をオンにすると、画面に字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。

字幕放送番組は、番組表の番組説明に「字」のアイコンが表示されています。

1 「字幕」を押す

「字幕」を押すたびにオン／オフを切り換えることができます。

- 字幕の設定については **P.51** をご覧ください。

放送メール

放送メールには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。

未読のお知らせがあると、「画面表示」を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 「メニュー」を押す

2 ▲▼で「機器設定」を選び、「決定」を押す

3 ▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す

4 ▲▼で「放送メール」を選び、「決定」を押す



5 ▲▼で放送メールの種類を選び、「決定」を押す

- 放送局からのお知らせ デジタル放送局からのお知らせです。
- 本機に関するお知らせ 予約などについて本機が発行したお知らせです。

6 ▲▼で読みたい放送メールを選び、「決定」を押す

ご注意

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BS デジタルと110度CS デジタルは、合わせて24通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります) 記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は既読の古いものから順に削除される場合があります。

CS ボード

110度CS デジタル放送からの視聴者に向けたお知らせです。各50通まで表示されます。

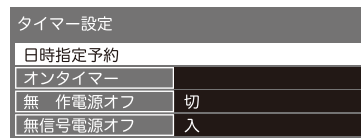
オンタイマーを使う

設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 「メニュー」を押す

2 ▲▼で「タイマー設定」を選び、「決定」を押す

3 ▲▼で「オンタイマー」を選び、「決定」を押す



便利な機能を使う(つづき)

4 ▲▼ で設定する項目を選び、(決定) を押す

オンタイマー	
オンタイマー	切
時刻	11:50
音量	20
放送／入力	地上D
チャンネル	011
チャンネル名	NHK総合1・東京
設定を変更する場合は「切」にしてください。	

オンタイマー

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

時刻

◀▶ で移動し数字ボタンで時刻を入力します。

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

◀▶ で好みの音量を選びます。

放送／入力

▲▼ で「設定しない／地上D／BS／CS／HDMI 1／HDMI 2／ビデオ」から選びます。

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、視聴するチャンネルを設定します。

▲▼ でチャンネルを選びます。

- チャンネル： 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

チャンネル名

設定したチャンネルの放送局名が表示されます。

5 本機の電源を切る

自動で電源が切れるようにする

● オフタイマー

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 [切タイ] を押す

2 ▲▼ で「オフタイマー」を選び、(決定) を押す

サブメニュー	
HDMI 機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
録画一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
信号切換	

3 ▲▼ で「90分」「60分」「30分」「オフ」から選び (決定) を押す

90分
60分
30分
オフ

お知らせ

- 電源が切れる3分前になると、画面にメッセージが表示されます。

● 無操作電源オフ／無信号電源オフ

1 [メニュー] を押す

2 ▲▼ を押して「タイマー設定」を選び (決定) を押す

3 項目を選び ▲▼ で「入／切」を選択する

● 無操作電源オフ

しばらくの間無操作状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

● 無信号電源オフ

しばらくの間信号を受信しない状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

便利な機能を使う(つづき)

文字を入力する

ハードディスクの表示名を変更するなど文字を入力する場合に、文字入力画面が表示されます。

● 入力モード切換え

〔緑〕(文字切換え)を押すと、文字入力モードの切換えが行えます。

- **かな**.....ひらがなや漢字を入力
- **カナ**.....カタカナを入力
- **英数**.....英字や数字を入力
- **数字**.....数字を入力

● 画面キーボードでの文字入力

画面に表示される文字入力キーボードで、▲▼◀▶で文字を選び〔決定〕を押します。

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	漢字変換
空白	」	よ	う	ん	り	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤 終了
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	”	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切換え
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	”	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア

〔青〕: 漢字変換 (画面キーボードのみ)

〔赤〕: 確定／終了

〔緑〕: 文字切換え

〔黄〕: 文字クリア

● リモコンでの文字入力

1 下の表のようにリモコンの1～12で文字を入力する

入力例：らっぱ

〔9〕、〔4〕(6回)、〔6〕〔10〕(2回)

ら っ ぱ

- ・文字に続けて〔10〕を押すと、濁点「゛」や半濁点「゜」の入力ができます。
- ・同じボタンで文字を続けて入力するときは、次の文字の入力前に▶を押します。
- ・途中で文字を挿入するときは、挿入する箇所から入力します。
- ・入力した文字を削除するときは、〔黄〕(文字クリア)を押します。

2 文字を確定する

- ・漢字に変換しない場合は、〔決定〕を押します。
 - ・漢字変換する場合は、▼を繰り返します。変換されたら、〔決定〕を押します。
- 漢字が見つからない場合は、◀▶で再度変換します。

3 入力が完了したら、〔決定〕を押す

お知らせ

- ・文字入力を画面キーボードで行うかリモコンのキーで行うかは「その他の設定」の「文字入力設定」から行うことができます。詳しくは **P.53** をご覧ください。

テレビを見る

● リモコン入力文字一覧

・最後の候補まで進むと、最初の候補に戻ります。

リモコン	入力文字の種類			
	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえおあいうえお 1	アイウエオアイウエオ 1	@./:~_#\$%*+=^1	1
2	かきくけこ 2	カキクケコカキクケコ 2	abcABC2	2
3	さしすせそ 3	サシスセソ 3	defDEF3	3
4	たちつてと 4	タチツテト 4	ghiGHI4	4
5	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	jklJKL5	5
6	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	mnoMNO6	6
7	まみむめも 7	マミムメモ 7	pqrPQRS7	7
8	やゆよやゆよ 8	ヤユヨヤユヨ 8	tuvTUV8	8
9	らりるれろ 9	ラリルレロ 9	wsyzWXYZ9	9
10	゛ ゜ ｡ ？ ！ ・ () 0	゛ ゜ ｡ ？ ！ ・ () 0	-;'"?!&¥ ()<>[]{}0	0
11	わをんわー	ワヲンワー	␣ (スペース)	*
12	逆方向へ入力 *1	逆方向へ入力 *1	逆方向へ入力 *1	#

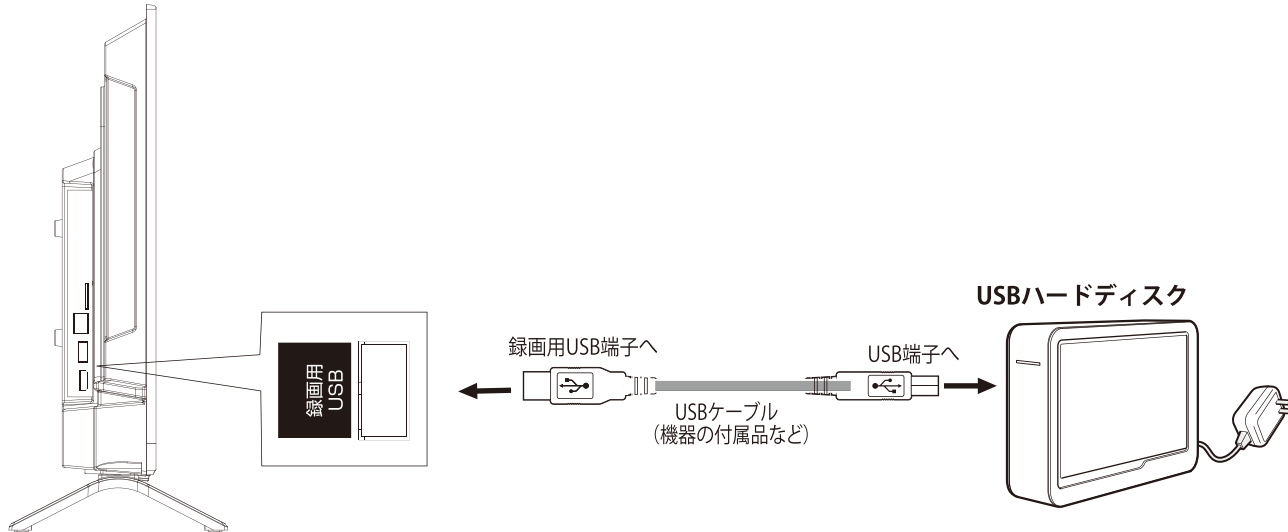
※ 1 文字入力変換で通り過ぎた場合に、逆方向へ戻ります。

録画の準備

本機に USB ハードディスク（別売り）を接続すると録画や録画予約ができます。

USB ハードディスクを接続する

本機背面の USB 端子（録画用）に接続します。



お知らせ

- 本機に登録できるUSBハードディスクは8台までです。但し、同時に接続できるのは1台です。
- 本機に録画用として登録できる機器は、160GB以上2TB以下のUSBハードディスクです。
- 電源供給型のハードディスク（標準規格USB 2.0）をご使用ください。
お使いの際はハードディスクに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。
- バスパワータイプ（電源非供給タイプ）のハードディスクは使用できません。
- USBハブは使用できません。必ず本機のUSB接続端子にハードディスクを直接接続してください。
- 複数台のハードディスクを同時に接続しての使用はできません。
- 必ず本機にUSBハードディスクが接続されていることを確認してください。
- 本機での録画に使用するハードディスクは、あらかじめ本機に録画用登録をする必要があります。
なお、本機に登録するとUSBハードディスク内のデータはフォーマットされ、すべてのデータが消去されますので、事前にハードディスクの内容についてご確認ください。
- 本機に未登録のUSBハードディスクが接続されている場合、本機の操作時や機器接続時にハードディスク登録のメッセージが表示されます。その場合は表示に従い本機に登録してください。
- 本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。本機と同型の別機器であっても同様です。
- 本機の設定を初期化した場合、それまでUSBハードディスクに録画した番組の再生ができなくなりますのでご注意ください。
- デジタルラジオ放送の録音はできません。
- USB フラッシュメモリは使用できません。
- Flash-SSD（ソリッドステートドライブ）は使用できません。

ご注意

- USBハードディスクについて
USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。
本機に接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存は保証できません。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

録画の準備(つづき)

録画機能について

● USB ハードディスクに録画できる番組

本機に接続した USB ハードディスクに録画できるのは、地上デジタル放送番組と、BS/110 度 CS デジタル放送番組です。外部入力からの映像、音声については録画できません。

ご注意

- 録画できるのは本機で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。
- 外出時などに留守録することができます。2番組同時に録画または予約録画はできません。
- 本機に登録していない USB ハードディスクでは録画できません。
- 2 台同時に USB ハードディスクに録画することはできません。
- 録画中に、本機や USB ハードディスクの電源プラグを抜いたり（停電なども含む）、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

重要なお知らせ

万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

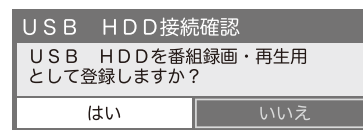
下記の場合には録画予約や録画が正常にできない場合があります。

- 録画時間が重複している場合。
- 録画時間がハードディスクの容量を超える場合。
- 約 5 分以下の短い番組。
- 受信レベルが低下している場合。
- 番組が延長した場合。
- 予約開始時に録画設定したハードディスクが接続されていない場合。
- 電源プラグやアンテナケーブルが抜けている場合。

新しい USB ハードディスクに登録する

USB ハードディスクを初めて接続したときは、初期化（フォーマット）が必要です。初期化をしないと録画できません。

1 ◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す



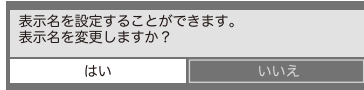
2 このテレビでのみ再生可能であることの確認画面で◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

3 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す 初期化と登録が始まります。

録画

録画・予約機能について

- 4 表示名を変更する場合は、◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す



変更する必要のない場合は「いいえ」を選びます。「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されるので、表示名を入力して(決定)を押します。半角 24 文字まで入力できます。

- 5 登録した USB ハードディスクを録画機器にする場合、◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す
録画や予約をするときに、録画機器の初期候補が登録した USB ハードディスクになります。

ご注意

- 録画中および録画予約が設定されているときは、本機や USB ハードディスクの電源プラグや USB ケーブルを抜かないでください。
- 本機で初期化して登録した USB ハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

USB ハードディスクの設定をする

登録した USB ハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定および初期化などができます。

録画

- 1 (メニュー) を押して、「機器設定」→「USB 機器管理」と選ぶ



USB 機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間などを確認できます。

- 2 設定する USB 機器を▲▼で選び、以降の手順で設定する



● 取り外すとき

(青) (取り外し) を押します。登録した機器を取り外すときは、必ずこのボタンを押します。

ご注意

- 本機に接続した USB ハードディスクは、必ずこの操作により安全に取り外してください。安全に取り外しを行わなかった場合、次回接続したときに、機器の認識に時間がかかったり、本機の動作が不安定になったりする可能性があります。

● 機器の詳細を確認するとき

(赤) (機器詳細) を押すと、登録した機器のメーカー名や容量などが表示されます。

● 登録を削除するとき

(黄) (登録削除) を押し、◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押します。

● 表示名を変更するとき

(緑) (表示名変更) を押し、文字入力画面で入力します。(赤) (終了) を押すと元の画面に戻ります。文字入力画面について詳しくは [26](#) をご覧ください。

録画と予約

見ている番組を録画する

現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

- 1 を押す
見ている番組の録画が始まります。
録画は3時間後、または番組終了後に自動的に停止します。(お買い上げ時設定は「3時間録画」)
※設定は「機器設定」⇒「録画設定」⇒「録画ボタン」で変更できます。 **P.50**

- 2 録画中で停止したい場合は
を押す

番組表から録画予約する

- 1 を押す
- 2 で録画したい番組を選び、を押す
- 3 番組説明を確認して、で「録画予約」を選び、を押す



- 視聴予約 指定した番組の視聴予約
- 録画予約 指定した番組の録画予約

- 4 「録画予約設定」画面で「予約する」を選び を押す



「予約する」「毎週予約する」「自動録画する」「詳細設定」から選びます。

- 5 「予約が完了しました。」が表示されたら、を押す

番組表に録画予約済みの赤い  アイコンが表示されます。

お知らせ

- 番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確認や取消しについては、**P.33**をご覧ください。
- 自動録画は最大24件まで予約設定できます。
- 次回の予約が設定されるまで、最大1日かかる場合があります。

ご注意

以下の条件によっては自動録画が実行されない場合があります。必ず事前に予約一覧で予約設定内容をご確認ください。

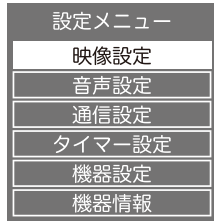
- 番組名が前回と大きく異なる場合や似ているなどの場合は、次回の放送が録画されなかったり、内容の異なる番組が録画される場合があります。
- 番組タイトルが極端に短い場合は予約設定されない場合があります。
- 前回との放送開始時間が90分以上前後している場合は予約設定されない場合があります。
- 1つの自動録画からは1日に1回だけ予約設定されます。同じ番組が1日に連続して複数回放送される場合などにはご注意ください。
- 録画機器の状態(起動中や終了処理中など)によっては、次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。

録画と予約(つづき)

録画する日時を指定して録画予約する

1  を押す
設定メニューが表示されます。

2 ▲▼で「タイマー設定」を選び、 を押す



3 ▲▼で「日時指定予約」を選び、 を押す



「時間指定予約」画面が表示されます。

4 録画予約の日時やチャンネルを設定する



① 設定する項目を▲▼で選び、◀▶で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 設定できる時間は最大12時間です。

5 ▲▼で「予約する」を選び、 を押す

6 「予約が完了しました。」が表示されたら、 を押す

お知らせ

- 予約の確認や取消しについては、**P.33**をご覧ください。

録画設定の変更

「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

1  を押す

2 ▲▼◀▶で録画予約した番組を選び、 を押す

3 ◀▶で「設定変更」を選び、 を押す
「予約削除」を選択すると予約を取り消すことができます。

4 ▲▼で「詳細設定」を選び、 を押す

5 以下の項目から変更したい項目を選んで変更する

- 予約方式 「見るだけ」「録画」を◀▶で選びます。
- 録画機器 複数のUSBハードディスクを接続しているときに、録画先を選びます。
- その他の設定 「録画番組のプロテクト」で録画する番組を消さないよう保護できます。プロテクトされた録画番組は録画一覧に🔒が表示されます。
- 時間指定予約 録画終了時間を設定できます。

録画と予約(つづき)

録画を中止する

録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。
ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

● 視聴している番組を録画中のとき

- 1 を押す
録画が停止します。

● 録画予約で録画中のとき

- 1 を押す
録画の中止を確認するメッセージが表示されます。
- 2 で「はい」を選び、を押す
録画が停止します。

予約の確認・取消しをする

録画予約した内容の確認、取り消しができます。

- 1 を押す
サブメニューが表示されます。
- 2 で「予約一覧」を選び、を押す
予約リストが表示されます。



- 3 で予約を確認する番組を選び、を押す
- 4 予約を取り消すときは、で「予約削除」を選び、を押す
予約が取り消されます。

● 予約リストサブメニュー

予約リストが表示されているときに を押すと、予約リストサブメニューが表示され以下の項目が選択できます。

- 視聴制限一時解除
- 全履歴削除



録画予約に関するお知らせ

予約した番組の放送開始時刻が他の予約した番組と重なっている場合には、確認画面が表示されます。
(重複していると、番組の一部またはすべてが録画できません。)画面の指示に従って、重複した予約を削除してください。

※予約重複が解消されていない場合、本機は以下の優先順位に基づき録画を実行します。

- ・開始時刻の早い番組を優先します。
- ・開始時刻が同じ場合、予約の種類で優先順位を決めます。
番組表録画⇒自動録画⇒日時指定録画⇒録画ボタンでの録画
- ・開始時刻と予約の種類が同じ場合、予約設定の日時がより新しい(現在時間に近い)番組を優先します。

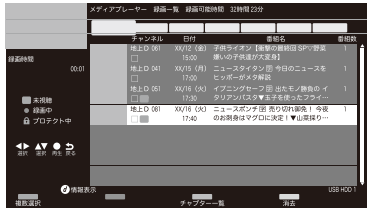
録画した番組を再生する

録画番組を再生する

USB ハードディスクに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

● 再生の基本操作

- 1 **録画リスト** を押す
録画一覧が表示されます。



録画一覧には、番組の簡単な情報や、USB ハードディスクへの録画可能時間などが表示されます。

- 録画一覧には以下のアイコンが表示されます。
 - NEW**：未視聴
 - ：録画中
 - 🔒**：プロテクト中
- 緑**（チャプター一覧）を押すと選んだ番組のチャプター一覧が表示されます。

- 2 ▲▼で見たい番組を選び、**決定**を押す
どこから再生するか確認画面が表示されたら
◀▶で「続きから再生」「最初から再生」を選び**決定**を押します。
- 選んだ番組の再生が始まります。（再生されるまでに時間がかかる場合があります）
 - 番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画一覧に戻ります。
 - 再生中にできるリモコン操作については、**P.35**を参照してください。

- 3 再生を停止させるには、**停止**を押す
- 録画一覧の画面に戻ります。
 - 録画番組の再生を終了するときは、**終了**を押すか、または選局の操作などをします。

ご注意

- 電源を入れた直後は USB ハードディスクの認識に時間がかかることがあります。その場合は、しばらく待ってから再度録画一覧を開いてください。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ（同じ形式のテレビも含む）では再生できません。
- USB ハードディスクに録画した番組を再生中に、本機や USB ハードディスクの電源プラグを抜いたり（停電なども含む）、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

● 録画中の番組を再生する

録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

- ① 録画中の番組を選び、**決定**を押す

お知らせ

録画一覧について

- 録画開始直後の番組は、録画一覧に表示されるまで少し時間がかかります。

● 録画番組の情報や番組説明を見る

- ① 再生中に**画面表示**を押す
再生中の番組の情報が表示されます。
- ② 表示を消すには、もう一度**画面表示**を押す

録画した番組を再生する(つづき)

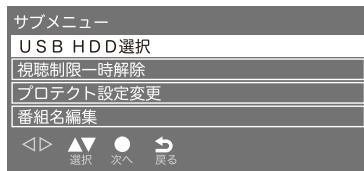
● 録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内容
	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
	再生中に押すと、30 秒ほど先に進んで再生します。
	再生中に押すと 10 秒ほど戻って再生します。
	前のチャプターまでスキップします。 ※チャプターがない場合は、番組の先頭に戻って再生します。
	次のチャプターまでスキップします。 (チャプターがある場合のみ有効)
	再生中に押すと、録画一覧が表示されます。

● 録画一覧サブメニュー

録画一覧を表示中に  を押すと、録画一覧サブメニューが表示され以下の項目が選択できます。

- USB HDD 選択
- 視聴制限一時解除
- プロテクト設定変更
- 番組名編集



録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護できます。

※ 録画中にこの操作はできません。

- 1  を押す
- 2   で保護する番組を選び、 を押して   で「プロテクト設定変更」を選び、 を押す
 - 選んだ番組が保護されます。( がつきます)
 - 同じ操作でプロテクトを解除できます。

録画した番組を削除する

- 1  を押す
- 2   で削除する番組を選び、 (消去) を押す
- 3 確認画面で、  で「はい」を選び、 を押す

● 複数選択して削除する

- 1 録画一覧の画面で  (複数選択) を押す
選んだ番組のチェックボックスにチェックが入ります。
- 2  (消去) を押し、  で「はい」を選んで  を押す

録画

外部機器を接続する

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグを、本機の音声出力端子に接続します。

ご注意

- 鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げ過ぎないように注意してください。

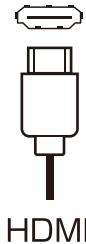
お知らせ

- ヘッドホンを接続したときは、「音声同時出力」で本機のスピーカーからも同時に音を出すか出さないかの設定ができます。同時に出す設定にしたときは、ヘッドホンの音量は「音量調整」で調整します。詳しくは **P.49** をご覧ください。

外部機器の映像と音声を本機で再生する

DVD プレーヤー、BD プレーヤー、オーディオ機器やビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。

高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとより画質の高い映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な接続方法をお選びください。

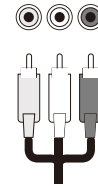


HDMI

高

映像画質

標準



音声/映像 (AV)

ご注意

- 接続する機器の取扱説明書をご確認のうえ接続してください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

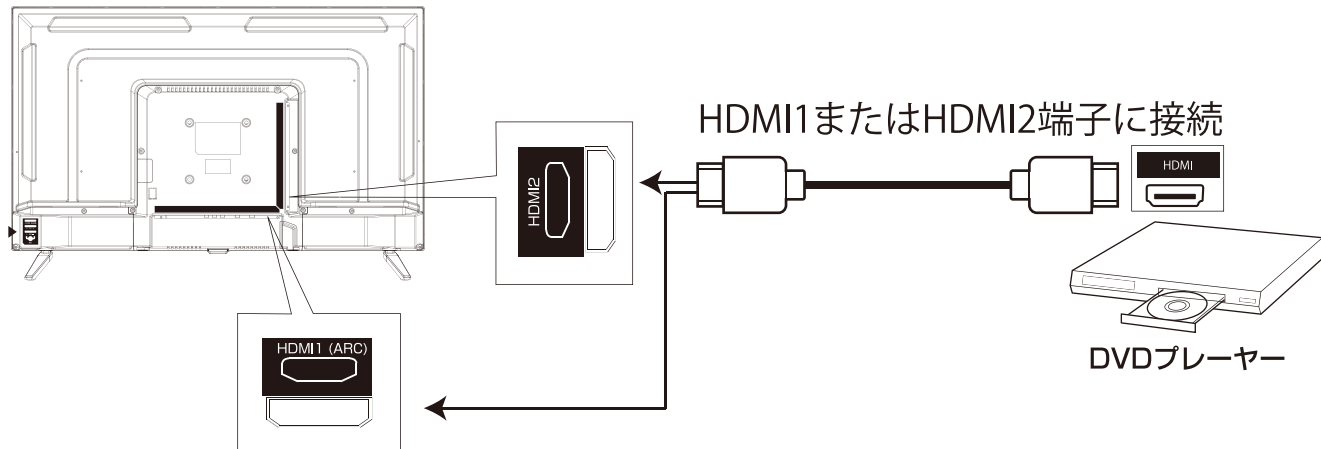
お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属していません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認のうえ、お客様にてご用意ください。

外部機器を接続する(つづき)

● HDMI 入力端子を使う場合

HDMI 端子のある DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを接続できます。HDMI ケーブルを接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

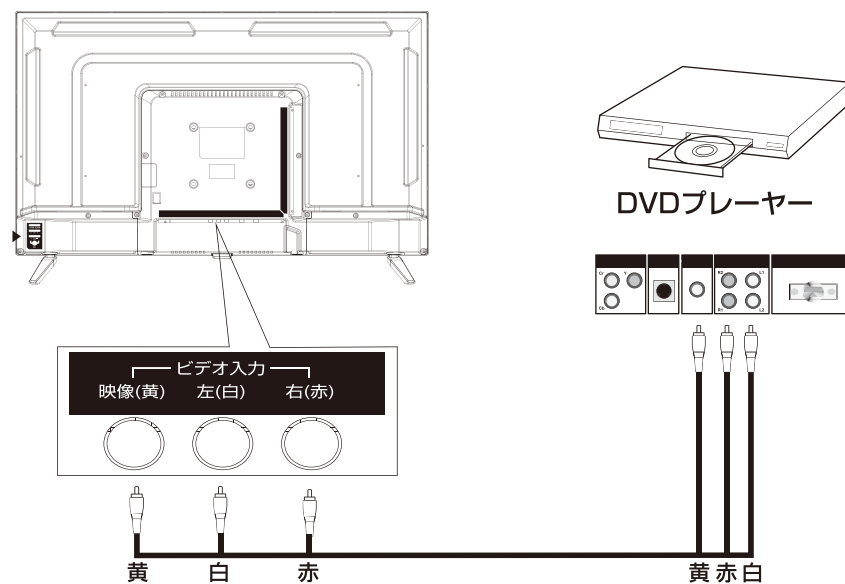


お知らせ

- HDMIの標準技術規格に対応した機器をお使いください。
- 本機の音声を外部機器に出力する場合は、HDMI 1 (ARC)入力端子をお使いください。

● AV 入力端子を使う場合

DVD プレーヤー、ビデオカメラなど AV 出力端子を持つ外部機器は、AV (RCA) ケーブルで本機の AV 入力端子に接続します。



外部機器との接続

外部機器を接続する(つづき)

オーディオ機器にデジタル音声を出力する

本機の光デジタル音声出力端子に、AV アンプなどの光デジタル音声入力を接続することで、臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。

● ミニコンポなどにつなぐとき

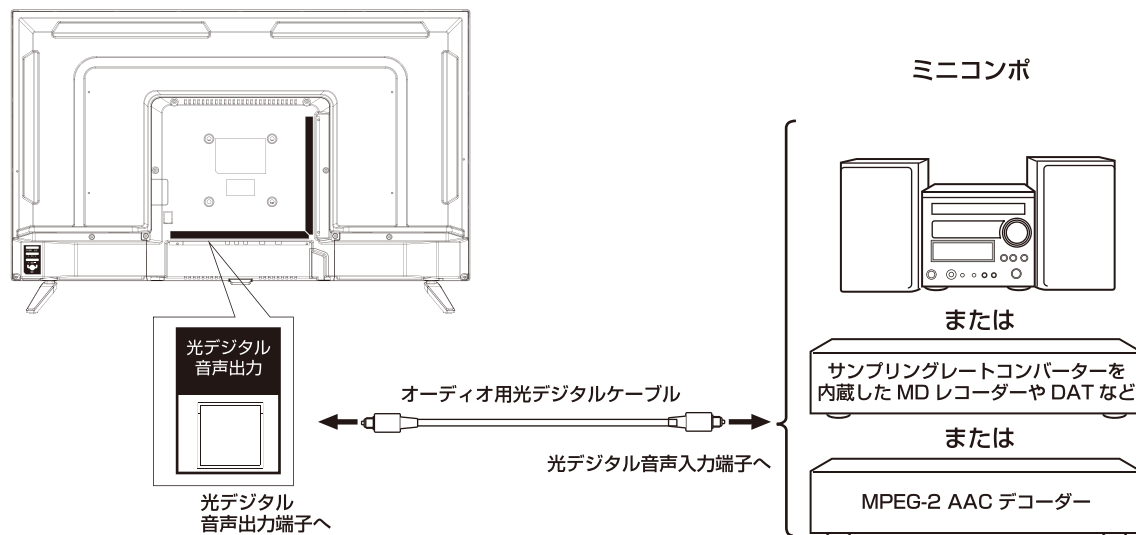
- 本機の音量を最小に調整し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、**P.39**「デジタル音声出力の設定」をします。

● MD レコーダーや DAT につなぐとき

- サンプルレートコンバーターを内蔵した MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子につながれば、高音質で録音して楽しむことができます。
- **P.39**「デジタル音声出力の設定」で「PCM」を選びます。

● MPEG-2 AAC デコーダーにつなぐとき

- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。
- **P.39**「デジタル音声出力の設定」で「自動」または、「ビットストリーム」を選びます。



お知らせ

- 光デジタルケーブルのプラグには 2 種類の形状があります。接続する機器の形状に合ったケーブルをご用意ください。

外部機器を接続する(つづき)

● デジタル音声出力の設定

光デジタル音声出力端子から出力する音声信号を設定します。

お買い上げ時は「PCM」に設定されています。MPEG-2 AAC デコーダーや AAC デコーダー内蔵アンプをつなぐときは「自動」または「ビットストリーム」に設定します。

1 を押し ▲▼ で「音声設定」を選び、 を押し

「音声設定」画面が表示されます。

2 ▲▼ で「デジタル音声出力」を選び、 を押し

音声設定		
音声調整	標準	
低音		0
高音		0
イコライザー		
バランス		0
サラウンド	オフ	
ヘッドホン音量		25
音量自動調整	オフ	
入力音量補正		0
デジタル音声出力	自動	

3 ▲▼ で信号を選び、 を押し

音声設定		
音声調整	標準	
低音		0
高音		0
イコライザー		
バランス		0
サラウンド	オフ	
ヘッドホン音量		25
音量自動調整	オフ	
入力音量補正	自動	
デジタル音声出力	PCM	
	ビットストリーム	

自動

サラウンド音声とリニア PCM の信号が自動で識別されます。

PCM

リニア PCM 信号が出力されます。

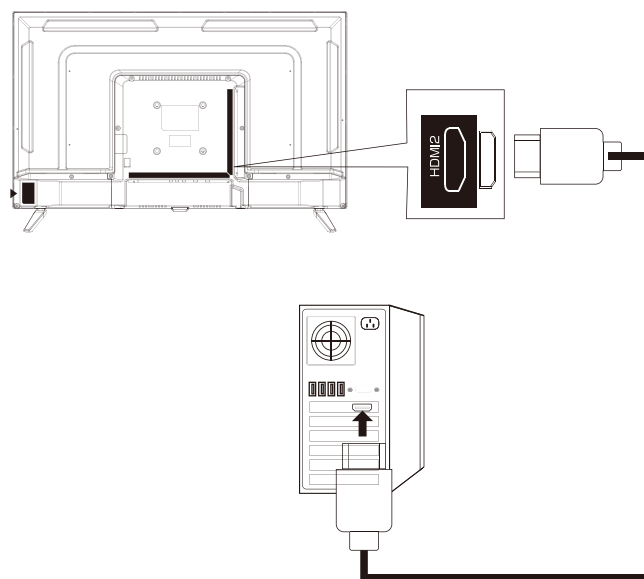
ビットストリーム

デジタル信号がそのまま伝達され、高音質な音声出力されます。

パソコンを接続する

HDMI 端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。

パソコンのHDMI出力端子を本機のHDMI2入力端子と接続してください。



ご注意

- 接続するパソコンの取扱説明書をご覧のうえ、対応出力フォーマットなど仕様をご確認ください。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- パソコンを接続する前に、パソコンの取扱説明書を確認し、テレビで表示できる画面設定（解像度、周波数）に変更してください。

外部機器を接続する(つづき)

HDMI 設定

1  を押し ▲▼ で「機器設定」を選び、 を押す

2 ▲▼ で「HDMI 設定」を選び、 を押す

機器設定	
USB 機器管理	
録画設定	
視聴制限設定	
表示の設定	
HDMI 設定	
かんたん設定	
設置設定	
システム設定	
その他の設定	

3 ▲▼ で設定する項目を選んで  を押し、
下の手順で設定する。

HDMI 設定	
HDMI 連動	オン
電源入連動	オフ
電源切連動	オン
自動切	オフ
レコーダ操作	通常

4  を押す

● HDMI 連動

HDMI の各種連動制御を使用するかどうかを設定します。

▲▼で「オン」または「オフ」を選び、 を押します。

● 電源入連動

連動機器の電源を入れたときに、本機に自動的に電源が入ります。

▲▼で「オン」または「オフ」を選び、 を押します。

● 電源切連動

本機の電源を切ったときに、連動機器の電源が自動的にオフになります。

▲▼で「オン」または「オフ」を選び、 を押します。

● 自動切

HDMI での操作が終わると連動機器の電源だけが自動的にオフになります。

▲▼で「オン」または「オフ」を選び、 を押します。

● レコーダ操作

HDMI レコーダーを操作するときに設定します。「拡大」を選ぶと、HDMI レコーダーの種類に応じて、操作に有効なボタンが追加されます。

外部機器を接続する(つづき)

入力表示設定

入力切替をするときに、使っていない入力をスキップ（飛び越す）したり、接続機器の種類を表示させたりできます。

1  を押し ▲▼ で「機器設定」を選び、 を押す

2 ▲▼ で「表示の設定」を選び、 を押す

3 ▲▼ で「入力表示」を選び、 を押す

表示の設定	
字幕の設定	
入力表示	
タイトル表示	オン
時計表示	オフ

4 ▲▼ で「HDMI 1」「HDMI 2」「ビデオ」から表示を変更する外部入力を選び、 を押す

入力表示	
HDMI 1	HDMI 1
HDMI 2	HDMI 2
ビデオ	ビデオ

5 ▲▼ で表示したい名称または「使用しない（スキップ）」を選び、 を押す

HDMI 1
使用しない（スキップ）
ブルーレイ
DVD
レコーダー
ゲーム
CATV
チューナー
表示なし

以下の項目が選べます。

- HDMI 1 / HDMI 2 / ビデオ（変更なし）
- 使用しない（スキップ）
- ブルーレイ
- DVD
- レコーダー
- ゲーム

- CATV
- チューナー
- 表示なし

＜変更後  を押したときの表示＞

入力切替	
テレビ	
HDMI 1	
HDMI 2 [ブルーレイ]	
ビデオ	

HDMI スピーカー選択設定

音声を本機のスピーカーで再生するか、接続した HDMI 機器で再生するかを設定します。

1  を押し ▲▼ で「HDMI 機器設定」を選び、 を押す

サブメニュー	
HDMI 機器設定	
オフタイマー	オフ
予約一覧	
録画一覧	
チャンネル設定	
3桁入力選局	
視聴制限一時解除	
アンテナレベル	
信号切替	

2 「HDMI 機器選択」で HDMI 機器を選び、 を押す

H M I 機器設定	
HDMI 機器選択	HDMI
スピーカー選択	TV

3 「スピーカー選択」で「TV」か「外部」を選び、 を押す

お知らせ

- 本機の音声を外部機器に出力する場合は、HDMI 1 入力端子（ARC 対応）をお使いください。

外部機器を接続する(つづき)

インターネット接続

本機背面の LAN 端子にネットワークケーブルをつなぐと、双方向通信のデータ放送や独立データ放送などをお楽しみいただけます。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに「通信設定」をします。

1  を押し ▲▼ で「通信設定」を選び、 を押す

「通信設定」画面が表示されます。

2 ▲▼ で「ネットワーク接続」を選んで  を押す



3 以下の手順に従って設定する

本機の名称／IPアドレス／DNS 設定	
本機の名称変更	Japan TV
IP アドレス	自動取得
IP アドレス	
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
DNS アドレス	自動取得
DNS	
プロキシ設定	

● 本機の名称変更

ネットワーク上で表示する本機の名称を変更したいときに設定します。

● IP アドレス

インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。

※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。

1 ▲▼ で「IP アドレス」を選び、 を押す

2 IP アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選ぶ

＜IP アドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合＞

① ▲▼ で「手動設定」を選ぶ

② ▲▼ で「IP アドレス」を選び、 ～  で入力する

③ ▲▼ で「サブネットマスク」を選び、 ～  で入力する

④ ▲▼ で「ゲートウェイ」を選び、 ～  で入力する

• ②～④では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。

• ▲▼▶ で選び、 ～  で番号入力、◀ で訂正、 で設定完了。

3  を押す

● DNS アドレス

ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。

※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。DNS アドレスを手動で設定してください。

1 ▲▼ で「DNS アドレス」を選び、 を押す

2 DNS アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「自動取得」を選ぶ

＜DNS アドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合＞

① ▲▼ で「手動設定」を選ぶ

② ▲▼ で「DNS」を選び、 ～  で入力する

• ②では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。

• 欄を移動するには、◀▶ を押します。

3  を押す

外部機器を接続する(つづき)

● プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。
- ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。

1 ▲▼ で「プロキシ設定」を選び、を押す

2 ▲▼ で「アドレス」を選び、を押す

3 HTTP プロキシアドレスを入力し、を押す

- 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。

4 ▲▼ で「ポート番号」を選び、 ～ % でポート番号を入力する

5 を押す

ネットワーク状態を確認する

インターネットに正しく接続しているかどうかテストします。

1 「通信設定」画面で「ネットワーク状態」を選んでを押す

接続テスト結果が表示されます。

<正しく接続されなかったときは>

再接続確認を行ってください。再接続確認を行っても接続できないときは、「ネットワーク接続」からやり直してください。

サブメニュー画面

本機では、設定メニュー画面とサブメニュー画面から、さまざまな設定ができます。

サブメニュー画面

設定画面まで移動しなくても、簡単な設定ができたり、表示している画面に応じたサブメニューで便利な操作を行ったりすることができます。

- 1 OSD 表示がないときに **[サブ]** を押す
サブメニュー画面が表示されます。



- **HDMI 機器設定**

HDMI の各機器やスピーカーを選択します。詳しくは **P.41** をご覧ください。

- **オフタイマー**

自動で電源を切るよう設定できます。詳しくは **P.26** をご覧ください。

- **予約一覧**

視聴予約、録画予約の一覧リストを表示します。詳しくは **P.33** をご覧ください。

- **録画一覧サブメニュー**

詳しくは **P.35** をご覧ください。

- **チャンネル設定**

受信できるチャンネルを設定します。詳しくは **P.52** をご覧ください。

- **3桁入力選局**

数字ボタンで3桁を入力して選局します。



- **視聴制限一時解除**

視聴制限を一時的に解除します。

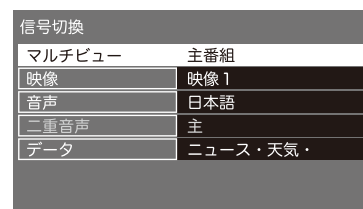
- **アンテナレベル**

現在視聴中の放送局の受信レベルを確認します。



- **信号切換**

現在視聴中の番組の映像や音声を切り換えます。



お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- **[戻る]** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

- **その他のサブメニュー**

- **番組表サブメニュー**

詳しくは **P.19** をご覧ください。

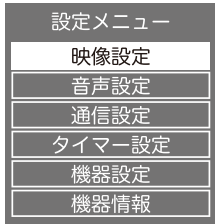
- **予約リストサブメニュー**

詳しくは **P.33** をご覧ください。

メインメニュー一覧

設定メニュー画面

1  を押す
設定メニュー画面が表示されます。



お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
-  を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

設定メニュー一覧

分類	設定内容	設定項目	ページ
映像設定	お好みに合わせて映像を設定したり画質を調整したりできます。	画質動作選択	P.46
		バックライト	
		コントラスト	
		黒レベル調整	
		色の濃淡	
		色あい	
		輪郭強調	
		色温度	
		動的コントラスト	P.47
		ノイズ低減	
		MPEG ノイズ低減	
		高度な設定	
		詳細調整	
		シネマ設定	
		画面の設定	
		調整の初期化	

分類	設定内容	設定項目	ページ
音声設定	お好みに合わせて音声を設定したり音質を調整したりできます。	音声調整	P.48
		低音	
		高音	
		イコライザー	
		バランス	
		サラウンド	P.49
		ヘッドホン音量	
		音量自動調整	
		入力音量補正	
		デジタル音声出力	
通信設定	双方向サービスを利用するために必要なインターネットへの接続を設定します。	音声同時出力	調整の初期化
		調整の初期化	
		調整の初期化	
タイマー設定	日時を指定した録画予約や自動で電源を入れたり切ったりする設定をします。	ネットワーク接続	P.42
		ネットワーク状態	P.43
機器設定	外部機器の設定や本機のシステム設定などをします。	日時指定予約	P.32
		オンタイマー	P.25
		無操作電源オフ	P.26
		無信号電源オフ	
		USB 機器管理	P.50
		録画設定	
		視聴制限設定	
		表示の設定	P.51
		HDMI 設定	P.40
		かんたん設定	P.52
機器情報	本機の ID 情報を表示します。	設置設定	
		システム設定	P.53
		その他の設定	
機器情報	本機の ID 情報を表示します。	ID 表示	—

調整と設定

お好みの映像設定

- 映像設定メニューは、視聴している番組の種類とお好みに応じて最適な設定を行うために使用されます。
- 映像設定メニューは、すべての放送種類及びすべての入力ソースに対して個別設定することができます。

ⓧメニューを押して設定メニュー画面の「映像設定」を選んで、決定を押します。

映像設定	
画質動作選択	標準
バックライト	100
コントラスト	90
黒レベル調整	50
色の濃淡	50
色合い	0
輪郭強調	50
色温度	中
動的コントラスト	オン
ノイズ低減	自動

現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の映像を、お好みの画質に調整できます。

お知らせ

- 項目によっては選択できないものがあります。

画質動作選択

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

鮮やか
標準
居間
映画
映画プロ
おこのみ

- **鮮やか**
日中の明るい場所で見るときに適した設定です。
- **標準**
落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です。
- **居間**
明るいきりびんぐで見るときに適した設定です。
- **映画**
映画を見るときに適した設定です。
- **映画プロ**
暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。
- **おこのみ**
映像をお好みの画質に調整します。

画質の調整

お好みに合わせて画質を調整できます。

● バックライト

バックライトの明るさを調整します。

● コントラスト

設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。

● 黒レベル調整

設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。

● 色の濃淡

設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。

● 色あい

設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。

● 輪郭強調

設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。

● 色温度

お好みの色調を設定します。
「1～5」から選びます。

● 動的コントラスト

暗い画面で光量を小さくする調整をします。「オン／オフ」から選びます。

● ノイズ低減

映像の乱れを少なくします。「自動／強／中／弱／オフ」から調整します。

● MPEG ノイズ低減

DVD やハードディスクレコーダーの長時間録画モードの映像などに出やすいノイズを軽減します。
「強／中／弱／オフ」から調整します。

お好みの映像設定(つづき)

高度な映像調整

映像をより詳細に調整したいときに設定します。

- 高度な設定
「入」を選ぶと、以下の詳細調整ができます。

● 詳細調整

詳細調整	
黒伸長	8
ホワイトバランス	
ガンマ設定	
調整の初期化	

- 黒伸長
ばらつきの多い黒レベルを一定に揃えます。0 から 15 の間で調整します。
- ホワイトバランス
RGB それぞれのゲインとそれぞれのカットオフを -50 から +50 の間で微調整します。

ホワイトバランス	
Rゲイン	0
Gゲイン	0
Bゲイン	0
Rカットオフ	0
Gカットオフ	0
Bカットオフ	0
調整の初期化	

- ガンマ設定
映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを 1.8 から 2.6 までの 5 段階から調整します。

お知らせ

- 選択中の画質の動作によっては、高度な映像調整、詳細調整は行えない場合があります。

シネマ設定

よりリアルに映画を楽しめるシネマリアリティの「オン／オフ」を設定します。

画面の設定

画面のサイズや位置などを調整します。

画面の設定	
画面サイズ切替	
オーバースキャン	オン
両横ノイズカット	標準
垂直位置／大きさ	
4：3 映像設定	ジャスト

- 画面サイズ切替
番組に適した画面サイズを選びます。詳しくは **P.23** をご覧ください。
- オーバースキャン
映像の周辺部が映らないようカットする機能です。
- 両横ノイズカット
画面両横に見られる映像ノイズを調整します。
- 垂直位置／大きさ
画面の表示位置や大きさを調整します。詳しくは **P.23** をご覧ください。
- 4:3 映像設定
4:3 映像の画面を「ノーマル／ジャスト」から選んで設定します。

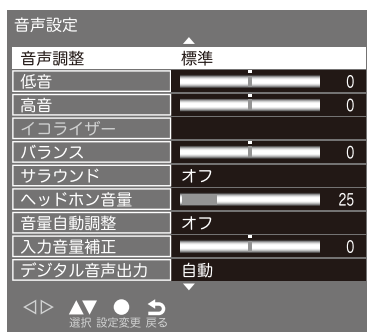
調整の初期化

映像調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選びます。

お好みの音声設定

- 音声メニューは、音声出力を最適化し最高の音声再生設定を行うために使用されます。
- 音声メニューは、すべての放送の種類とすべての入力ソースに対して設定することができます。

メニューを押して設定メニュー画面の「音声設定」を選んで決定を押します。



現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の音声を、お好みの音質に調整できます。

音声調整

あらかじめシーンに合わせた音声設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



- **標準**
ほとんどのシーンに合う一般的な設定です。
- **音楽**
音楽シーンに適した設定です。
- **会話**
人の音声聞き取りやすくなる設定です。
- **おこのみ**
音声をお好みの音質に調整します。

音質の調整

お好みに合わせて音質を調整できます。

- **低音**
設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
- **高音**
設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
- **イコライザー**
特定の周波数域を増幅、減衰することにより音質を調整します。「音声調整」を「おこのみ」に設定したときにだけ有効になります。
- **バランス**
左右の音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。
- **サラウンド**
ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り換えます。

お好みの音声設定(つづき)

音量調整

ヘッドホン音量や入力音量の補正を設定します。

- **ヘッドホン音量**

ヘッドホン音量  25

ヘッドホンで聞くときの音量を 0 から 100 の間で設定します。出荷時は 25 に設定されています。

- **音量自動調整**

「オン／オフ」から設定します。

- **入力音量補正**

音量を－6 から +6 の間で調整します。

ご注意

- 鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げ過ぎないように注意してください。

デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子から出力する音声信号を設定します。詳しくは **P.39** をご覧ください。

音声同時出力

音声を外部機器とテレビから同時に出力するかを設定します。

調整の初期化

音声調整を出荷時の状態に戻します。確認画面で「はい」を選びます。

機器設定

メニューを押して設定メニュー画面の「機器設定」を選んで決定を押します。



機器設定メニューでは外部機器の設定や初期設定、システム設定などができます。

USB 機器管理

USB 機器一覧を表示し、取り外しや登録の削除などができます。詳しくは P.30 をご覧ください。



録画設定

録画をするときの設定をします。



- 自動予約

録画予約した番組の次回の録画を自動で予約するかどうかを「オン／オフ」で設定します。

- 録画ボタン設定

録画ボタンを押して録画したときの録画終了時間を「番組終了／3時間録画」から設定します。

- オートチャプター

録画一覧の画面で表示するチャプターを自動で作成するかを「オン／オフ」で設定します。

- USB HDD 待機

USB 機器を待機状態にするかどうかを「オン／オフ」で設定します。

視聴制限設定

視聴制限の設定をします。



- 視聴年齢の制限を設定する

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号を設定した状態で、以下の設定をする必要があります。

1 「視聴制限設定」画面で「視聴制限設定」を選び、決定を押す
暗証番号を入力する画面が表示されます。

2 1～10で暗証番号を入力する



3 ▲▼で視聴年齢制限設定を選択し、決定を押す

4 ▲▼で年齢を設定し、決定を押す
設定できる年齢は、「4才」～「19才」と「無制限」です。



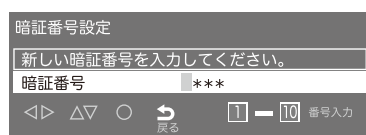
- 暗証番号を設定・変更する

視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号設定」を選び、決定を押す
暗証番号を入力する画面が表示されます。
暗証番号を変更する場合は、すでに設定されている暗証番号を入力します。

機器設定(つづき)

- 2 ①～⑩で新しく設定する暗証番号を入力する



- 3 確認のため、新しく設定する暗証番号をもう一度入力する

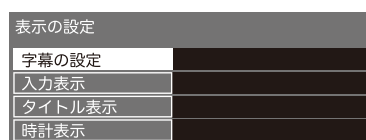
- 4 (決定) を押す
暗証番号が設定されます。

● 暗証番号を削除する

- 1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号削除」を選び、(決定) を押す

- 2 ◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す
暗証番号が削除されます。

表示の設定



● 字幕の設定をする

字幕の日本語／英語表示を切り換えます。

- 1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び、(決定) を押す
「字幕の設定」画面が表示されます。



- 2 ▲▼で「字幕」を選び、「オン／オフ」を選び (決定) を押す

- 3 ▲▼で「字幕言語」を選び、「日本語／英語」を選び (決定) を押す

● 文字スーパーの設定をする

文字スーパーの設定をします。

- 1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び、(決定) を押す

- 2 ▲▼で「文字スーパー」を選び、「オン／オフ」を選び (決定) を押す

- 3 ▲▼で「文字スーパー言語」を選び、「日本語／英語」を選び (決定) を押す

● その他の表示の設定

・ 入力表示

入力切換をするときに表示される外部入力機器を設定します。詳しくは **P.41** をご覧ください。

・ タイトル表示

(画面表示) を押したときに番組タイトルを表示するか「オン／オフ」で設定します。

・ 時計表示

画面左下に時計を表示するかを設定します。

HDMI 設定

HDMI 機器を接続したときの動作を設定します。詳しくは **P.40** をご覧ください。

機器設定(つづき)

かんたん設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「かんたん設置設定」を行ってください。詳しくは **P.16** をご覧ください。

設置設定

本機を設置するときに設定します。

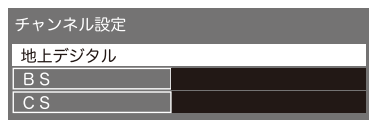


● 受信対象設定

BS と CS を「使う／使わない」から選びます。



● チャンネル設定



● 地上デジタル／BS／CS

引越した場合などこのメニューからチャンネルを設定します。状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。

購入後初めて設定する場合や違う地域に引っ越した場合は、「初期スキャン」を選びます。現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。

「再スキャン」を選ぶと、スキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。手動で設定するときは「マニュアル」を選びます。

● チャンネル設定修正

[1]～[12] に、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。

以下の画面は「BS」を選んだときの画面です。



1 ▲▼ で変更したいリモコンの数字を選び、**[決定]** を押す

2 必要に応じて、**[緑]** (入換) を押して変更する

3 **[戻る]** (終了) を押す

● 地域設定

お住まいの地域と郵便番号を設定しておくことにより、データ放送で、地域の情報を得ることができます。



● 県域設定

▲▼ で県域を選び **[決定]** を押します。

● 郵便番号

[1]～[0/0] で郵便番号を入力します。「0」は **[0/0]** で入力します。

● 受信設定

「地上」で地上デジタル受信設定を、「衛星」で衛星受信設定を行います。

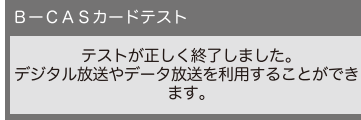
● 高速起動

電源を入れたときの起動を高速にするかを「入／切」で選びます。

機器設定(つづき)

● B-CAS テスト

本機にセットされている miniB-CAS カードの状態をテストします。正常な場合は「テストが正しく終了しました。デジタル放送やデータ放送を利用することができます。」と表示されます。



システム設定

B-CAS 情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認したりできます。

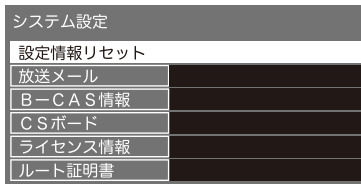
● 設定情報リセット

本機の廃棄を目的に、全ての設定情報を削除します。登録した機器の情報も失われるため、USB HDD に録画した番組は見るができなくなります。

ただし、暗証番号は消去されませんので事前に視聴制限設定で暗証番号を削除してください。

1 ▲▼で「システム設定」を選び(決定)を押す

2 ▲▼で「設定情報リセット」を選び(決定)を押す



3 ◀▶で「はい」を選び(決定)を押す

ご注意

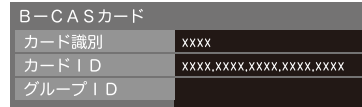
- 初期化を行うと、初期化前の状態に復元することはできません。

● 放送メール

放送局から受信したお知らせなどを一覧で表示します。詳しくは **P.25** をご覧ください。

● B-CAS 情報

B-CAS カードの識別番号などを表示します。



● CS ボード

110 度 CS デジタル放送局から送られてくる情報や案内が表示されます。



● ライセンス情報

本機のライセンス情報を表示します。

● ルート証明書

ルート証明書を表示します。ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

その他の設定

文字入力設定などその他の設定です。

● 文字入力設定



● 入力方法

リモコンのボタンで入力するか画面に表示されるキーボードで入力するかを選びます。

● 変換方式

通常方式か予測方式かを選びます。

● 選局対象

選局対象を「設定チャンネル」「テレビのみ」「全チャンネル」から選びます。

設定チャンネル: チャンネル設定で設定したチャンネル

テレビのみ: 独立データ放送を除くテレビ放送のみ

全チャンネル: 放送されているすべてのチャンネル

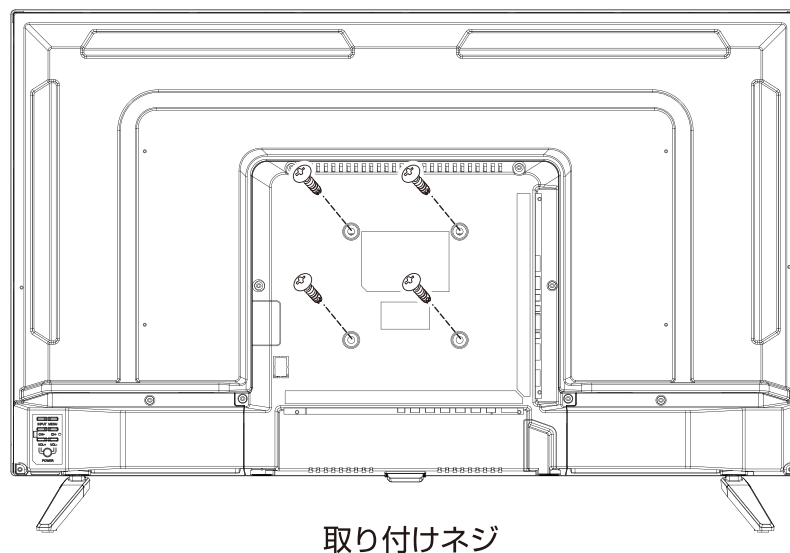
壁にかけてつかうとき

本機は壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

ご注意

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 壁への取り付けが不完全または誤った据え付け方をすると、テレビが落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。
- 設置方法の問題で生じた破損や故障について当社は一切責任を負いません。

背面



お知らせ

- VESA 規格に準じた金具をご使用できます。
- 本機の重量に合った壁掛け金具を使用してください。
- 掛け金具取付用ネジ穴寸法は、
100mm×100mm(SQ-Y32M)
200mm×200mm(SQ-Y42M)
- ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調整してください。

ご注意

- 長いネジを使用すると、内部の部品にダメージを与え製品を損傷します。
- 取り付けの際は、液晶パネルを傷つけないよう取扱いに注意してください。

地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下表のとおりです。
引越しや新しく放送局が開局された場合などに、チャンネルを割り当て直したいときは、初期設定メニューを表示し、「チャンネル設定」の「地上デジタル自動設定」で「地域選択」と「初期スキャン」または「再スキャン」を行なってください。

お住まいの地域	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）	
チャンネル名	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・室蘭
	2	NHKE テレ札幌	2	NHKE テレ函館	2	NHKE テレ旭川	2	NHKE テレ帯広	2	NHKE テレ釧路	2	NHKE テレ北見	2	NHKE テレ室蘭
	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 旭川	1	HBC 帯広	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 室蘭
	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 旭川	5	STV 帯広	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 室蘭
	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 旭川	6	HTB 帯広	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 室蘭
	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 旭川	8	UHB 帯広	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 室蘭
	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 旭川	7	TVH 帯広	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
チャンネル名	3	NHK 総合・仙台	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・盛岡	1	NHK 総合・福島	3	NHK 総合・青森	1	NHK 総合・東京
	2	NHKE テレ仙台	2	NHKE テレ秋田	2	NHKE テレ山形	2	NHKE テレ盛岡	2	NHKE テレ福島	2	NHKE テレ青森	2	NHKE テレ東京
	1	TBC テレビ	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	6	IBC テレビ	8	福島テレビ	1	RAB 青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT 秋田テレビ	5	YTS 山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV 青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB 福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB 東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	TOKYO MX

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
チャンネル名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・前橋	1	NHK 総合・水戸	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・宇都宮	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・長野
	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ東京	2	NHKE テレ長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	abn 長野朝日放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC 信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	tvk	3	群馬テレビ			3	チバテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレ玉		

お住まいの地域	新潟		山梨		大阪		京都		兵庫		和歌山		奈良	
チャンネル名	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府	1	NHK 総合・大阪	1	NHK 総合・京都	1	NHK 総合・神戸	1	NHK 総合・和歌山	1	NHK 総合・奈良
	2	NHKE テレ新潟	2	NHKE テレ甲府	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ大阪
	6	BSN	4	YBS 山梨放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送	4	MBS 毎日放送
	8	NST	6	UTY	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ	6	ABC テレビ
	4	TeNY テレビ新潟			8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	5	新潟テレビ21			10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
					7	テレビ大阪	5	KBS 京都	3	サンテレビ	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		香川		島根		鳥取		山口	
チャンネル名	1	NHK 総合・大津	1	NHK 総合・広島	1	NHK 総合・岡山	1	NHK 総合・高松	3	NHK 総合・松江	3	NHK 総合・鳥取	1	NHK 総合・山口
	2	NHKE テレ大阪	2	NHKE テレ広島	2	NHKE テレ岡山	2	NHKE テレ高松	2	NHKE テレ松江	2	NHKE テレ鳥取	2	NHKE テレ山口
	4	MBS 毎日放送	3	RCC テレビ	4	RNC 西日本テレビ	4	RNC 西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY 山口放送
	6	ABC テレビ	4	広島テレビ	5	KSB 瀬戸内海放送	5	KSB 瀬戸内海放送	6	BSS テレビ	6	BSS テレビ	3	tys テレビ山口
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSK テレビ	6	RSK テレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	yab 山口朝日
	10	読売テレビ	8	TSS	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち						
	3	BBC びわ湖放送			8	OHK テレビ	8	OHK テレビ						

地域別チャンネル表 (つづき)

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
チャンネル名	3 NHK 総合・名古屋	3 NHK 総合・津	3 NHK 総合・岐阜	1 NHK 総合・金沢	1 NHK 総合・静岡	1 NHK 総合・福井	3 NHK 総合・富山
	2 NHKE テレ名古屋	2 NHKE テレ名古屋	2 NHKE テレ名古屋	2 NHKE テレ金沢	2 NHKE テレ静岡	2 NHKE テレ福井	2 NHKE テレ富山
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBC	1 KNB 北日本放送
	5 CBC	5 CBC	5 CBC	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT 富山テレビ
	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 MRO	4 だいいちテレビ		6 チューリップテレビ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	8 石川テレビ	5 静岡朝日テレビ		
	10 テレビ愛知	7 三重テレビ	8 ぎふチャン				

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
チャンネル名	1 NHK 総合・松山	3 NHK 総合・徳島	1 NHK 総合・高知	3 NHK 総合・福岡	1 NHK 総合・熊本	1 NHK 総合・長崎	3 NHK 総合・鹿児島
	2 NHKE テレ松山	2 NHKE テレ徳島	2 NHKE テレ高知	3 NHK 総合・北九州	2 NHKE テレ熊本	2 NHKE テレ長崎	2 NHKE テレ鹿児島
	4 南海放送	1 四国放送	4 高知放送	2 NHKE テレ福岡	3 RKK 熊本放送	3 NBC 長崎放送	1 MBC 南日本放送
	5 愛媛朝日		6 テレビ高知	2 NHKE テレ北九州	8 TKU テレビ熊本	8 KTN テレビ長崎	8 KTS 鹿児島テレビ
	6 あいテレビ		8 さんさんテレビ	1 KBC 九州朝日放送	4 KKT くまもと県民	5 NCC 長崎文化放送	5 KKB 鹿児島放送
	8 テレビ愛媛			4 RKB 毎日放送	5 KAB 熊本朝日放送	4 NIB 長崎国際テレビ	4 KYT 鹿児島読売 TV
				5 FBS 福岡放送			
				7 TVQ 九州放送			
				8 TNC テレビ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄
チャンネル名	1 NHK 総合・宮崎	1 NHK 総合・大分	1 NHK 総合・佐賀	1 NHK 総合・那覇
	2 NHKE テレ宮崎	2 NHKE テレ大分	2 NHKE テレ佐賀	2 NHKE テレ沖縄
	6 MRT 宮崎放送	3 OBS 大分放送	3 STS サガテレビ	3 RBC テレビ
	3 UMK テレビ宮崎	4 TOS テレビ大分		5 QAB 琉球朝日放送
		5 OAB 大分朝日放送		8 沖縄テレビ (OTV)

● 一覧の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

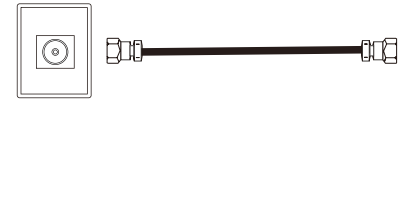
故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

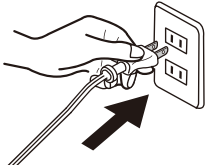
まず、ご確認ください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下を確認してください。

アンテナは正しく
つながっていますか？



電源プラグは正しく
つながっていますか？



こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点がある
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする
部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	● 電源コードが本機やコンセントから抜けていませんか？ → 電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	● リモコンを本機のリモコン受光部に向けていますか？ ● お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？ → リモコン受光部に強い光を当てないでください。 ● 乾電池が消耗していませんか？ → 新しい乾電池に交換してください。 ● 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？ → 正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	● オフタイマーを設定していませんか？ → オフタイマーの設定を確認してください。 ● 操作しない状態や信号を受信しない状態が長く続いていませんか？ → タイマー設定の「無操作電源オフ」や「無信号電源オフ」の設定を確認してください。

その他

故障かな?と思ったら(つづき)

映像

症状	原因や対処のしかた
テレビの映像が出ない	- アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ →アンテナケーブルの接続を確認してください。 - 明るさは正しく調整されていますか？ →「バックライト」や「コントラスト」を調整してください。
外部機器の映像が出ない	外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	- 電源コードのプラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。 - 電源は入っていますか？ →電源を入れてください。 - 入力切替は合っていますか？ →リモコンまたは本体入力切替操作で、入力を切り換えてください。
映りが悪い 映像や音声にノイズが混じる 映像や音声が出なくなることがある 映像が静止することがある	- アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ - アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整し直し、確実に固定してください。 - アンテナケーブルの劣化が考えられます。販売店にご相談ください。 - 天候による電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、場合によってはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
色合いが悪い、色が薄い	色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ →「色の濃淡」や「色あい」を調整してください。
画面が暗い	明るさは正しく調整されていますか？ →「バックライト」や「コントラスト」を調整してください。

故障かな?と思ったら(つづき)

音声

症状	原因や対処のしかた
テレビや外部機器の音声がでない	• 音量が最小になっていませんか？ • 「消音」状態になっていませんか？ • ヘッドホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	• miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？ → 挿入方向を確認して、カチッと音がするまで挿入してください。
BS/110 度 CS デジタル放送が受信できない	• 付属の miniB-CAS カードを挿入しましたか？ → 他のテレビに付属の mini-B-CAS カードをお使いの場合は、BS/110 度 CS デジタル放送が受信できないことがあります。必ず本機に付属の miniB-CAS カードをお使いください。
110 度 CS デジタル放送が受信できない	• 110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナやケーブルをお使いください。
引越したら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 「設置設定」の「チャンネル設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	• お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

故障かな?と思ったら(つづき)

録画

症状	原因や対処のしかた
USB ハードディスクが認識されない	• 本機に対応した USB ハードディスクですか？ • USB ハードディスクが正しく接続されていますか？ →USB ハードディスクを正しく接続してください。 P.28 USB ハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。 • USB ハードディスクが本機に登録されていますか？ →USB ハードディスクを本機に登録してください。 P.29
録画できない	• USB ハードディスクの電源は入っていますか？ →電源オンが必要な USB ハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。 • USB ハードディスクの空き容量が不足していませんか？ →不要な番組を削除してください。 P.35 • 録画できない映像ではありませんか？ →コピー禁止の番組や、独立データ放送、外部入力からの映像・音声は録画できません。 • 放送開始時刻が変更されていませんか？ →録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「システム設定」メニューの「放送メール」で確認できます。
録画した番組が再生できない	• 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

製品仕様

本体

種類	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
品番	SQ-Y32M	SQ-Y42M
定格電源	100V～50/60Hz	
画面サイズ	32V型 697.69mm(幅)×392.26mm(高さ)	42V型 924.48mm(幅)×506.52mm(高さ)
バックライト	直下型LED方式	
区分名	DN1	DF1
画素数	1366(水平)×768(垂直)	1920(水平)×1080(垂直)
応答速度	7ms	8ms
視野角(最小値)	左右約176°/上下約176°	
輝度(最大値)	200cd/m ² ±10%	
コントラスト比(標準値)	4000:1	3000:1
受信チャンネル	地上デジタル: VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63) CATVパススルー(VHF、UHF)対応、BSデジタル: BS000～BS999、 110度CSデジタル: CS000～CS999	
チューナー	地上デジタル、BS・110度CSデジタル×2(ダブルチューナー)	
音声出力(スピーカー)	10W+10W	
HDMI入力×2	HDMI入力1 ver.1.4 (ARC対応), HDMI入力2 ver.1.4 HDMI対応入力解像度: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p パソコン入力解像度(最大): 1366×768	HDMI入力1 ver.1.4 (ARC対応), HDMI入力2 ver.1.4 HDMI対応入力解像度: 480i, 480p, 576i, 576p, 720p, 1080p パソコン入力解像度(最大): 1920×1080
ヘッドホン音声出力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック	
光デジタル音声出力	角型光デジタル端子	
LAN端子	RJ45	
USB端子(録画専用)	USB2.0	
ビデオ入力	映像(ピンジャック): 1V(p-p) 75Ω 音声(ピンジャック): 200mV(rms)、22kΩ以上	
データ放送	データ放送(BML)対応	
番組表	電子番組表(EPG): ラテ欄表示形式 視聴予約/録画予約可能	
使用環境温度/湿度	0℃～35℃/20～80%(結露のないこと)	
サイズ(幅・奥行き・高さ)	スタンド無し: 728 × 430 × 86mm スタンド有り: 728 × 481 × 200mm	スタンド無し: 951 × 588 × 218mm スタンド有り: 951 × 541 × 88mm
質量	約4.06kg、スタンド含む4.13kg	約5.54kg(スタンド含む5.79kg)
定格消費電力	55W	75W
待機電力	電源「待機」時0.5W、電源「切」時0W、 機能動作時0.5W(番組情報などを取得しているとき)	
年間消費電力量	65.5kWh/年	100.4kWh/年
電源コード長	1.5m	
付属品	リモコン×1個、リモコン用単4形乾電池×2個、miniB-CASカード×1枚、 スタンド×1組、スタンド固定ネジ×4本、保証書付き取扱説明書×1部	

リモコン

品番	SQ-YRC3
電源	DC 3V(単4乾電池×2)
操作距離	約7m(但し直進)

※年間消費電力量: 年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に使用する電力量です。

ご注意

- この製品は、日本国内用に設計・販売しています。国外では放送方式が異なり使用できません。
- 仕様および外観、ソフトウェア、付属品は、改良のため予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

その他

お手入れのしかた

警告

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。シンナー、ベンジンなどの溶剤を使用しないでください。化学ぞうきんを使う時は、その注意書きに従ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤や石けんを溶かした水に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取ってください。
- 液晶パネルの表面には、薄いガラス板の上にコーティングが施されています。液晶パネル保護のため、次のことをお守りください。
 - 液晶パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したり、こすったりしないでください。傷付き・変色の原因になります。
 - 液晶パネルの表面に結露などによる水滴など液体が付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色・ぼやけの原因になります。
 - 液晶パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷が付き、色ムラ・変色・ぼやけの原因となります。

商標などについて

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

廃棄の際のご注意

本機を廃棄処分する場合や他の人に譲渡したりする場合、「設定初期化」を実行していただき、設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報の消去を行ってください。 **P.53**

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

点検について

愛情点検



ご使用の際このような症状はありませんか？

長年ご使用のテレビの点検を!!

- 本体が異常に熱い。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いたり、触れると通電したりしなかったりする。
- こげ臭いにおいがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、使用を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理（有料）をご依頼ください。

お買上げの販売店へご相談ください。

■取扱説明書「安全上のご注意」の記載事項を守ってお使いください。

思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。
保証期間は、お買上げ日より 1 年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

商品に保証書を添えてお買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

※保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、お客様が業者に依頼して発生した本製品の取り付け・取り外しの費用等は弊社では一切責任を負いかねます。
※本製品の故障による代替品の貸出は一切行っておりません。
※弊社は出張修理サービス等を行っていません。
※修理をご依頼いただく際の輸送箱は、お客様自身でご用意をお願いします。

■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店又は弊社サポートセンターへご相談ください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害及び当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失について、当社は一切責任を負いません。
- 保証期間内外に関わらず、いかなる理由におきましても、本製品の取り付け・取り外しに発生した費用等に関して当社は一切責任を負いません。



液晶テレビ 保証書

持込修理

本書は、お買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合に、下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参・ご提示いただき、お申し付けください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、ご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間中でも次の場合には原則として、有料とさせていただきます。
(イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障および損傷。
(ハ) お買い上げ後の地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、煙害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
(ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
(ヘ) 本書のご提示のない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
- 本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料期間修理をお約束するものです。

従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

※修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料及びその他の費用はお客様のご負担となります。

※保証の範囲は、修理・交換を限度とします。また、故障その他による逸失利益、その他製品使用上で生じた直接または間接の損害については、その責任範囲に含まれません。

※出張修理を依頼され、本体に原因がないと判断した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。(出張修理対象製品のみ)

ご販売店様へ：必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

品番	SQ-Y32M / SQ-Y42M		
保証期間	対象部分	期間(お買い上げ日より)	保証の条件
	本体	1年	持込修理
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前 様 ご住所 電 話		
販売店	販売店名 ご住所 印 電 話		

※個人情報の取扱いについて

弊社は、お客様の個人情報の保護に関する法律を遵守し、お客さまの個人情報の保護に努めます。

お客様の個人情報は、弊社製品の保証・アフターサービスのみにご利用し、他の目的には利用いたしません。

お客様の同意なしに第三者への開示・提供を行うことはありません。

弊社は、お客様の個人情報が適切に管理されるよう、業務委託先に対して指示・監督を行うなど十分な注意を払います。

エスケイジャパン株式会社

【ご相談窓口】〒818-0063 福岡県筑紫野市桜台 2-23-2

TEL.092-921-4210 Eメール: skjsupport@qtk.co.jp

電話受付時間 午前10時～午後1時、午後2時～午後5時(土・日・祝日を除く)

(C)C21